

別添 4

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
分担研究報告書

『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』について
一標本調査（B 票：患者（産婦）票、タイムスタディ、分娩取扱施設の収益等）に係る結果

—

研究代表者 野口 晴子 早稲田大学 政治経済学術院
研究分担者 片岡 弥恵子 聖路加国際大学 大学院看護学研究科
研究分担者 増澤 祐子 新潟県立看護大学 看護学部

研究要旨

本研究では、令和5年度の予備的なパイロット調査とヒアリングから得られた結果を参考に、令和6年度に実施された『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』において、悉皆調査（以下、B 票）で調査された質問項目（患者（産婦）票、産後ケア、分娩取扱施設の収益等）の記述統計量についての検証を行う。標本調査（以下、サンプル調査）の回収状況については、病院 B 票が 500 件中 145 件（29%）、診療所 B 票が 469 件中 196 件（41.8%）、助産所票が 326 件中 161 件（49.4%）であった。

本研究の結果についてはいくつか留意すべき点がある。第1に、分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、あくまでも速報値であり、令和7年度に研究班が精査を行う予定である。第2に、修正や調整が可能と判断したデータについては、研究班により統計的な処理を施した。第3に、以上の理由により、群間での違いに対する統計的な検定は殆ど行っておらず、群間での統計的な有意差についても、データの精査後に行う必要があると考える。

調査の結果、患者（産婦）票からは、以下のような結果が得られた。

- (1) 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- (2) 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多かった。
- (3) 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。
- (4) 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、

- 「初産婦」より「経産婦」の割合が高かった。助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高かった。
- (5) 分娩経験や分娩の状況によらず、ほぼ 80%以上の分娩が住所のある都道府県内で完結していた。
 - (6) 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短かった。
 - (7) 「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦で高く、とりわけ総合・地域周産期母子医療センターで該当割合が高かった。
 - (8) 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高かった。
 - (9) 入院中の助産ケアについて、「授乳指導」は、平均的な 1 日あたりの回数が 4.6 回、1 入院あたりの合計回数が 19.4 回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われていた。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均 1.7 回、経産婦で 1.5 回であり、経産婦にも実施されていた。
 - (10) 「育児技術指導」の延べ時間（平均）は初産婦で 257 分、経産婦で 218 分であり、「退院指導」の時間は初産婦で 45 分、経産婦で 42 分であった。
 - (11) 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高かった。「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低かった。
 - (12) 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338 円）＞帝王切開（511,299 円）＞その他の分娩（485,636 円）の順で高かった。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が 476,365 円に対して、「初産婦」は 523,711 円であった。
 - (13) 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358 円）＞診療所（513,405 円）＞それ以外の病院（503,551 円）＞助産所（448,154 円）の順で高かった。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については診療所が高い傾向。
 - (14) 正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出 2 時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が 0.8 人、「助産師」が 2.3 人、「看護師」が 0.4 人であった。
- 次に、妊婦健診と産後ケアについては、下記のような結果が得られた。
- (15) 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は 113,425 円（中央値 115,800 円）。うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は 10,882 円（中央値 3,460 円）。
 - (16) 妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約 13.4 回で、中央値も 13.4 回。産後ケア事業の短期入所型（1 泊 2 日ショートステイ型）の費用の平均値は、病院+診療所で 42,768 円（中央値 36,000 円）、助産所で 51,462 円（中央値 55,000 円）。

- (17) 病院+診療所における産後ケアのでの1か月間の延べ利用者数の平均は約7.5人（中央値3人）、助産所では約8.2人（中央値2人）。
- 最後に、分娩取扱施設の収益等については、下記の通りである。
- (18) 回答のあった「病院」（74施設、平均病床数448）では、令和4年度が▲5.4%、令和5年度が▲6.9%であった。うち、「総合・地域周産期母子医療センター」（39施設、平均病床数541）では、令和4年度が▲5.9%、令和5年度が▲6.9%であり、「それ以外の病院」（35施設、平均病床数321）では、令和4年度が▲8.1%、令和5年度が▲6.5%であった。
- (19) 「診療所」（医療法人、43施設）では、令和4年度が6.3%、令和5年度が3.6%であった。「助産所」の年度別の「損益率」は、個人（14施設）が、令和4年度が15.5%、令和5年度が11.7%であり、個人以外（4施設）が、令和4年度が3.0%、令和5年度が▲3.6%であった。
- (20) 職種別給与の平均・中央値・伸び率を年度ごとに、病院・診療所・助産所ごとに示している。回答のあった病院全体（回答65施設）で16,218,170円、総合・地域周産期母子医療センター（回答32施設）で14,303,900円、それ以外の病院（回答33施設）で18,079,260円、診療所（医療法人、回答44施設）で25,446,140円であった。
- (21) 令和5年度の「助産所における給与」の平均値について、回答のあった助産所全体で、管理者（回答15施設）で4,208,539円、助産師（28施設）で3,173,848円であった。

A. 研究目的

本研究では、令和5年度の予備的なパイロット調査とヒアリングから得られた結果を参考に、令和6年度に実施された『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』において、サンプル調査（以下、B票）で調査された質問項目（患者（産婦）票、タイムスタディ、分娩取扱施設の収益等）の記述統計量についての検証を行う。

B. 研究方法

B-1. 研究概要

本研究では、全国の分娩取扱施設2,173件を対象に、令和6年9月の1か月間（但し、助産所については、令和6年9

月又は10月のいずれかの1か月、郵送調査とオンライン調査（Excelシート）の併用により、施設の構造や実績・患者（産婦）の実態・費用構造等に対する調査を実施した。

質問票は、大きく、悉皆調査（以下、「A票」）とサンプル調査（以下、「B票」）の2つから構成されている。更に、分娩施設の機能別に、「病院A票」・「病院B票」、「診療所A票」・「診療所B票」、及び、「助産所票」の5種類に分類されている。助産所を対象とした調査は全質問項目について悉皆で実施したため、「A票」と「B票」の区別はない。

本研究で検証を行う B 票の調査内容には、患者（産婦）票、タイムスタディ、分娩取扱施設の収益等が含まれている。

標本調査（以下、サンプル調査）の回収状況については、病院 B 票が 500 件中 145 件（29%）、診療所 B 票が 469 件中 196 件（41.8%）、助産所票が 326 件中 161 件（49.4%）であった。

（倫理面への配慮）

本研究では、『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』を実施するに当たり、早稲田大学「人を対象とする研究に関する倫理審査委員会」にて、実施承諾を受けている（承認番号：2024-044；承認日：令和 6 年 5 月 4 日）。

C. 研究結果

C-1. 患者（産婦）票の結果

表 1 は、助産所を除く分娩状況を示している。「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経膈分娩等を含む「その他の分娩」が 81%であった。

「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで 14%と最も多い。「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが 11%、それ以外の病院が 7%、診療所が 13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。

表 2 は、分娩状況の割合を分娩経験別に示した表である。「帝王切開」の割合は、経産婦（7.5%）よりも初産婦（8.3%）がやや高いが、「無痛分娩」の割合は、経産婦（11.9%）と初産婦（11%）とでほぼ差がない。

表 3 は、分娩施設の割合を分娩経験別に示している。分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高かった。助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高かった。分娩経験の有無にかかわらず、45%が診療所で出産していた。

表 4～表 5 は、同一都道府県内の分娩施設での出産の割合をそれぞれ、都道府県別に分娩経験別・分娩状況別に示した表である。これらの表から、分娩経験や分娩状況によらず、ほぼ 80%以上の分娩が「産婦の住所ある都道府県」内で完結していることがわかった。

表 6～表 7 は、産婦の年齢等の属性について、分娩状況別・分娩経験別、及び、分娩施設別・分娩経験別に示した表である。表 6 では、「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短く、「初産婦」は「経産婦」と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高いことが分かった。表 7 をみると、総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「非妊時体重」が重く、「妊娠週数」が短く、「在院日数」が長かった。分娩施設によらず、「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦が高かった。総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高かった。

表 8～表 9 は、入院経路と分娩時間について、分娩状況別・分娩経験別、及び、

分娩施設別・分娩経験別に示した表である。表 8 では、その他の分娩の主な入院経路で最も多かったのは「陣痛発来」で約 67%、無痛分娩では「無痛分娩目的」が約 35%と最も高く、帝王切開では、いずれにも区分されない「その他の入院経路」が約半数を示していた。「入院から分娩第 3 期終了までの時間」は、無痛分娩のほうがその他の分娩より長かった。表 9 では、分娩施設別にみると、施設にかかわらず、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、初産婦より経産婦の方が「計画分娩」の割合が高かった。初産婦の「分娩時間」の平均値について、分娩第 1 期はそれ以外の病院（640 分）、診療所（605 分）、総合・地域周産期母子医療センター（587 分）の順に長い、分娩第 2 期は総合・地域周産期母子医療センター（119 分）、診療所（65 分）、それ以外の病院（47 分）の順に長くなっていた。

表 10 は、助産所での入院経路、分娩時間、搬送の状況を分娩経験別に示している。助産所では、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高かった。

表 11 は、分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別に分娩時の医療行為を示している。帝王切開・無痛分娩の方がその他の分娩に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬点滴」「血管確保」「陣痛誘発」の実施割合が高かった。分娩施設にかかわらず、初産婦の方が経産婦に比

べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬内服」「感染予防の抗菌薬点滴」「陣痛促進」「会陰切開」「会陰縫合」の実施割合が高かった。

表 12～表 13 は、入院中の助産ケアについて、分娩状況別・分娩経験別、及び、分娩施設別・分娩経験別に示した表である。表 12 では、入院中の助産ケアの実施回数や指導時間は、経産婦に比べて初産婦の方が多いことがわかった。「母子同室」については、分娩経験の有無にかかわらず、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順に実施割合が高かった。「授乳指導」については、平均的な 1 日あたりの回数が 4.6 回、1 入院あたりの合計回数が 19.4 回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われていた。「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均 1.7 回、経産婦で 1.5 回であり、経産婦にも実施されていた。「育児技術指導」の延べ時間は、初産婦で平均 257 分、経産婦で平均 218 分であり、「退院指導」の時間は、初産婦で平均 45 分、経産婦で平均 42 分であった。表 13 をみると、「授乳指導」については、総合・地域周産期母子医療センターやそれ以外の病院での実施回数が多く、「育児技術指導」時間も長い傾向にある。「沐浴指導」は、助産所での実施回数が多く、「退院指導」の時間も長い傾向にある。「授乳指導」の平均的な 1 日あたりの実施回数は、総合・地域周産期母子医療センターで平均 5.3 回、それ以外の病院で平均 5.0 回、診療所で平均 4.2 回、助産所で平均 4.7 回であった。

表 14 は、分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別に新生児の概要を示している。新生児の「出生時の体重」は、全般的に

「経産婦」の方が「初産婦」よりも重く、「在院日数」は、「初産婦」の方が「経産婦」よりも長かった。他方で、標準偏差をみると、両者とも、「経産婦」の方が「初産婦」よりもばらつきが大きかった。

新生児の「出生時の体重」は、その他の分娩＞無痛分娩＞帝王切開の順で重かった。

表 15～表 16 は、分娩状況・分娩経験別、及び、分娩施設別・分娩経験別に、新生児へ提供した医療等を示した表である。表 15 をみると、新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で多かった。「産科医」では、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で多かった。

検査等について、「アプニアセンサー装着」は全体の 47%に実施され、「新生児聴覚検査」は全体の 87%に実施されていた。無痛分娩・その他の分娩に比べ、帝王切開で出生直後に「血糖測定対象かどうか」「SpO2 モニター装着」の割合が高い。治療については、帝王切開・その他の分娩と比べ、無痛分娩で「光線療法」の割合が高い。表 16 では、新生児への「入院中の診療日数」については、

「小児科医」では総合・地域周産期母子医療センター＞診療所＞それ以外の病院の順で多い。「産科医」では、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院＞診療所の順で多いことがわかる。検査等について、「アプニアセンサー装着」はそれ以外の病院 72%、総合・地域周産期母子医療センター 67%、診療所 50%、助産所 19%の順で割合が高い。治療

については、それ以外の病院・診療所に比べ、総合・地域周産期母子医療センターで「光線療法」の割合が高い。

表 17 は、提供したサービス等について、分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別にみた表である。「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。「お祝い膳」の提供は、助産所が最も割合が低い。「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。

表 18～表 19 は、分娩状況別・分娩経験別、及び、分娩施設別・分娩経験別に、出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容を基にした費用を示している。表 18 をみると、「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338 円）＞帝王切開（511,299 円）＞その他の分娩

（485,636 円）の順で高かった。「室料差額」「分娩介助料」「処置・手当料」を除き、「経産婦」と比べ、「初産婦」の方が高かった。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が 476,365 円に対して、「初産婦」は 523,711 円であった。表 19 をみると、「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358 円）＞診療所（513,405 円）＞それ以外の病院（503,551 円）＞助産所（448,154 円）の順で高かった。「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については、診療所が高い傾向にある。

表 20～表 22 はそれぞれ、娩出 30 分前後、1 時間前後、2 時間前後で、分娩状況・分娩経験別に、分娩に関わった職種別の延べ人数を示している。娩出 30 分前後（表 20）では、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出 30 分前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が 0.8 人、「助産師」が 2.1 人であった。「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。その他の分娩で「医師」・「看護師」・「准看護師」の最小値に「0」があるのは、助産所が含まれるためである。娩出 1 時間前後（表 21）をみると、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出 1 時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が 0.8 人、「助産師」が 2.1 人であった。「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。最後に、娩出 2 時間前後（表 22）では、正常な経膣分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出 2 時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が 0.8 人、「助産師」が 2.3 人、「看護師」が 0.4 人であった。「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分

娩＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。「助産師」については、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

表 23～表 25 はそれぞれ、娩出 30 分前後、1 時間前後、2 時間前後で、分娩施設・分娩経験別に、分娩に関わった職種別の延べ人数を示している。表 23 をみると、「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。「助産師」については、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。娩出 1 時間前後では（表 24）、「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。娩出 2 時間前後（表 25）をみると、「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多か

った。「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター＞それ以外の病院＞診療所の順で投入される人数が多かった。「看護師」については、診療所＞それ以外の病院＞総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

C-2. 妊婦健診と産後ケア

表 26 は、病院と診療所について、平均的な妊婦健診と望ましい基準に含まれない健診費用の分布を示している。平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は 113,425 円（中央値 115,800 円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は 10,882 円（中央値 3,460 円）。平均的な健診費用が正規分布に近いのに対し、右裾が長い分布となっている。尚、妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約 13.4 回で、中央値も 13.4 回であった。

表 27 は、産後ケア事業の費用の分布を病院と診療所の合計、及び、助産所別に示した表である。短期入所型（1泊2日ショートステイ型）（病院+診療所）の費用の平均値は 42,768 円（中央値 36,000 円）に対し、助産所の費用の平均値は 51,462 円（中央値 55,000 円）。尚、病院+診療所での 1 か月間の延べ利用者数の平均は約 7.5 人（中央値 3 人）、助産所では約 8.2 人（中央値 2 人）であった。

C-3. 分娩取扱施設の収益等

表 28 は、令和 4 年度と令和 5 年度 2 年間の病院の損益率の状況、表 29 は診療所と助産所の損益率の状況を年度ごとに示している。回答のあった「病院」（74 施

設、平均病床数 448）では、令和 4 年度が▲5.4%、令和 5 年度が▲6.9%であった。うち、「総合・地域周産期母子医療センター」（39 施設、平均病床数 541）では、令和 4 年度が▲5.9%、令和 5 年度が▲6.9%であり、「それ以外の病院」（35 施設、平均病床数 321）では、令和 4 年度が▲8.1%、令和 5 年度が▲6.5%であった。また、「診療所」（医療法人、43 施設）では、令和 4 年度が 6.3%、令和 5 年度が 3.6%であった。「助産所」の年度別の「損益率」は、個人（14 施設）が、令和 4 年度が 15.5%、令和 5 年度が 11.7%であり、個人以外（4 施設）が、令和 4 年度が 3.0%、令和 5 年度が▲3.6%であった。

表 30～表 34 は、各収益と費用項目の年度ごとの伸び率を、病院・診療所・助産所ごとにそれぞれ示している。

表 35～表 38 は、職種別給与の平均・中央値・伸び率を年度ごとに、病院・診療所・助産所ごとに示している。回答のあった病院全体（回答 65 施設）で 16,218,170 円、総合・地域周産期母子医療センター（回答 32 施設）で 14,303,900 円、それ以外の病院（回答 33 施設）で 18,079,260 円、診療所（医療法人、回答 44 施設）で 25,446,140 円であった。令和 5 年度の「助産所における給与」の平均値について、回答のあった助産所全体で、管理者（回答 15 施設）で 4,208,539 円、助産師（28 施設）で 3,173,848 円であった。

最後に、表 39～表 41 は、年度別の資産と負債の状況を、病院・診療所・助産所ごとにまとめた表である。

D. 考察／E. 結論

本研究では、令和5年度の予備的なパイロット調査とヒアリングから得られた結果を参考に、令和6年度に実施された『分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査』において、サンプル調査（以下、B票）で調査された質問項目（患者（産婦）票、タイムスタディ、分娩取扱施設の収益等）の記述統計量についての検証を行った。

その結果、様々な観点から、分娩取扱施設の実態が明らかにされたが、本研究の結果についてはいくつか留意すべき点がある。第1に、分析に用いたデータは、外れ値や誤答と思われるものが含まれているため、あくまでも速報値であり、令和7年度に研究班が精査を行う予定である。第2に、修正や調整が可能と判断したデータについては、研究班により統計的な処理を施した。第3に、以上の理由により、群間での違いに対する統計的な検定は殆ど行っておらず、群間での統計的な有意差についても、データの精査後に行う必要があると考える。

F. 健康危険情報

特に無し。

G. 研究発表

1. 論文発表

特に無し。

2. 学会発表

特に無し。

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

特に無し。

2. 実用新案登録

特に無し。

3. その他

特に無し。

参考文献

厚生労働省. (2025) 第9回「妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会（資料1）」，令和7年4月16日.
<https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001476650.pdf>（閲覧日：令和7年5月15日）

表 1

分娩の状況

- 「分娩の状況（助産所除く）」は、「帝王切開」8%、「無痛分娩」11%、正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」が81%であった。
- 「帝王切開」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターで14%と最も多い。
- 「無痛分娩」の割合は、総合・地域周産期母子医療センターが11%、それ以外の病院が7%、診療所が13%であり、診療所での実施割合が最も高かった。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
総合・地域周産期母子医療センター	件数	18	14	99	131
	割合※注 2	13.7%	10.7%	75.6%	100.0%
	割合※注 3	34.6%	18.7%	18.7%	19.9%
それ以外の病院	件数	7	9	107	123
	割合※注 2	5.7%	7.3%	87.0%	100.0%
	割合※注 3	13.5%	12.0%	20.2%	18.7%
診療所	件数	27	52	324	403
	割合※注 2	6.7%	12.9%	80.4%	100.0%
	割合※注 3	51.9%	69.3%	61.1%	61.3%
計※注 1	件数	52	75	530	657
	割合※注 2	7.9%	11.4%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(4) = 10.8246$ $Pr = 0.029$ ）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各分娩施設内での分娩状況の割合

※注 3 各分娩状況内での分娩施設の割合

表 2

分娩状況の割合（分娩経験別）

- 「帝王切開」の割合は、経産婦（7.5%）よりも初産婦（8.3%）がやや高いが、「無痛分娩」の割合は、経産婦（11.9%）と初産婦（11%）とでほぼ差がない。

		帝王切開	無痛分娩	その他の分娩	計※注 1
初産婦	件数	28	37	271	336
	割合※注 2	8.3%	11.0%	80.7%	100.0%
	割合※注 3	53.9%	49.3%	51.3%	51.3%
経産婦	件数	24	38	257	319
	割合※注 2	7.5%	11.9%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	46.2%	50.7%	48.7%	48.7%
計※注 1	件数	52	75	528	655
	割合※注 2	7.9%	11.5%	80.6%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※助産所では帝王切開・無痛分娩の実施はないためこの表の算出から除外した。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(2) = 0.2512$ $Pr = 0.882$ ）から医療施設間での帝王切開・無痛分娩・その他群での割合の差は統計的に有意

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩状況内での出産経験の割合

表 3

分娩施設の割合（分娩経験別）

- 分娩施設の割合を分娩経験別にみると、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、「経産婦」より「初産婦」の割合が高いが、診療所と助産所は、「初産婦」より「経産婦」の割合が高い。
- 助産所の分娩においては、「経産婦」（74%）の割合が「初産婦」（27%）と比べ高い。
- 分娩経験の有無にかかわらず、45%が診療所で出産している。

		総合・地域周産期 母子医療センター	それ以外の病院	診療所	助産所	計 ※注 1
初産婦	件数	74	67	195	64	400
	割合※注 2	18.5%	16.8%	48.8%	16.0%	100.0%
	割合※注 3	56.5%	54.5%	48.6%	26.5%	44.6%
経産婦	件数	57	56	206	178	497
	割合※注 2	11.5%	11.3%	41.5%	35.8%	100.0%
	割合※注 3	43.5%	45.5%	51.4%	73.6%	55.4%
計※注 1	件数	131	123	401	242	897
	割合※注 2	14.6%	13.7%	44.7%	27.0%	100.0%
	割合※注 3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※注 1 χ^2 検定の結果（Pearson $\chi^2(3) = 47.2573$ $Pr = 0.000$ ）から出産経験有無別の出産施設の割合の差は統計的に有意である

※注 2 各出産経験内での分娩施設の割合

※注 3 各分娩施設内での出産経験の割合

表 4

同一都道府県内での分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩経験別）

- 分娩経験によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1
北海道	9	8	89%	10	10	100%	0	19	18	95%
青森県	3	3	100%	3	2	67%	0	6	5	83%
岩手県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
宮城県	5	3	60%	5	5	100%	0	10	8	80%
秋田県	1	1	100%	2	2	100%	0	3	3	100%
山形県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
福島県	6	6	100%	7	6	86%	0	13	12	92%
茨城県	12	11	92%	6	6	100%	0	18	17	94%
栃木県	8	8	100%	10	10	100%	0	18	18	100%
群馬県	5	5	100%	2	2	100%	0	7	7	100%
埼玉県	23	17	74%	18	17	94%	0	41	34	83%
千葉県	11	9	82%	9	6	67%	1	21	15	75%
東京都	29	23	79%	36	30	83%	1	66	53	82%
神奈川県	19	16	84%	28	26	93%	0	47	42	89%
新潟県	3	3	100%	5	5	100%	0	8	8	100%
富山県	3	3	100%	3	3	100%	0	6	6	100%
石川県	9	8	89%	5	5	100%	0	14	13	93%
福井県	9	8	89%	0	0	—	0	9	8	89%
山梨県	6	6	100%	6	6	100%	0	12	12	100%
長野県	9	9	100%	21	20	95%	1	31	29	97%
岐阜県	7	5	71%	6	6	100%	0	13	11	85%
静岡県	6	6	100%	13	12	92%	0	19	18	95%
愛知県	17	14	82%	35	34	97%	0	52	48	92%

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

産婦の住所 (都道府県)	初産婦	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1	経産婦	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1	出産 経験 不詳	計	同一都道府 県内での分娩 施設での出 産	% ※注 1
三重県	5	3	60%	4	4	100%	0	9	7	78%
滋賀県	5	5	100%	6	5	83%	0	11	10	91%
京都府	5	5	100%	8	7	88%	0	13	12	92%
大阪府	24	21	88%	35	31	89%	1	60	52	88%
兵庫県	20	15	75%	16	16	100%	0	36	31	86%
奈良県	3	3	100%	9	8	89%	0	12	11	92%
和歌山県	3	2	67%	4	4	100%	0	7	6	86%
鳥取県	4	4	100%	4	4	100%	0	8	8	100%
島根県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
岡山県	8	7	88%	12	12	100%	0	20	19	95%
広島県	5	4	80%	15	15	100%	0	20	19	95%
山口県	1	1	100%	6	6	100%	0	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
香川県	6	6	100%	4	4	100%	0	10	10	100%
愛媛県	2	2	100%	5	5	100%	0	7	7	100%
高知県	0	0	—	1	1	100%	0	1	1	100%
福岡県	16	13	81%	25	24	96%	0	41	37	90%
佐賀県	6	6	100%	5	3	60%	0	11	9	82%
長崎県	4	3	75%	7	6	86%	0	11	9	82%
熊本県	0	0	—	2	2	100%	0	2	2	100%
大分県	5	4	80%	9	9	100%	0	14	13	93%
宮崎県	4	3	75%	11	10	91%	0	15	13	87%
鹿児島県	5	3	60%	13	12	92%	0	18	15	83%
沖縄県	8	6	75%	13	12	92%	0	21	18	86%
都道府県不詳	54	—	—	37	—	—	3	94	—	—
計	399	294	74%	497	429	86%	7	903	723	81%

表 5

同一都道府県内の分娩施設での出産の割合（都道府県別・分娩状況別）

- 分娩の状況によらず、ほぼ80%以上の分娩が「産婦の住所がある都道府県」内で完結している。

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	無痛 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	その 他の 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
北海道	1	1	100%	3	3	100%	15	14	93%
青森県	2	2	100%	0	0	—	4	3	75%
岩手県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
宮城県	1	0	0%	2	2	100%	7	6	86%
秋田県	0	0	—	0	0	—	3	3	100%
山形県	0	0	—	2	2	100%	6	6	100%
福島県	0	0	—	1	1	100%	12	11	92%
茨城県	2	2	100%	0	0	—	16	15	94%
栃木県	1	1	100%	0	0	—	17	17	100%
群馬県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
埼玉県	3	3	100%	4	4	100%	34	27	79%
千葉県	0	0	—	1	1	100%	20	18	75%
東京都	1	1	100%	8	8	100%	57	45	79%
神奈川県	2	2	100%	12	11	92%	33	29	88%
新潟県	1	1	100%	0	0	—	7	7	100%
富山県	0	0	—	1	1	100%	5	5	100%
石川県	1	0	0%	1	1	100%	12	12	100%
福井県	2	2	100%	0	0	—	7	6	86%
山梨県	1	1	100%	0	0	—	11	11	100%
長野県	0	0	—	0	0	—	31	30	97%
岐阜県	0	0	—	0	0	—	13	11	85%
静岡県	1	1	100%	0	0	—	18	17	94%
愛知県	2	2	100%	4	3	75%	46	43	93%

産婦の住所 (都道府県)	帝王 切開	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	無痛 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1	その 他の 分娩	同一都道府 県内の分娩 施設での出 産	% ※注 1
三重県	0	0	—	1	0	0%	8	7	88%
滋賀県	1	1	100%	0	0	—	10	9	90%
京都府	0	0	—	3	3	100%	10	9	90%
大阪府	3	3	100%	5	4	80%	52	46	88%
兵庫県	2	2	100%	2	2	100%	32	27	84%
奈良県	0	0	—	0	0	—	12	11	92%
和歌山県	1	0	0%	0	0	—	6	6	100%
鳥取県	2	2	100%	0	0	—	4	6	100%
島根県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
岡山県	0	0	—	1	1	100%	19	18	95%
広島県	2	2	100%	1	1	100%	17	16	94%
山口県	0	0	—	0	0	—	7	7	100%
徳島県	0	0	—	0	0	—	0	0	—
香川県	0	0	—	0	0	—	10	10	100%
愛媛県	1	1	100%	0	0	—	6	6	100%
高知県	0	0	—	0	0	—	1	1	100%
福岡県	4	4	100%	5	5	100%	32	28	88%
佐賀県	1	1	100%	2	0	0%	8	8	100%
長崎県	0	0	—	0	0	—	11	9	82%
熊本県	0	0	—	0	0	—	2	2	100%
大分県	0	0	—	0	0	—	14	13	93%
宮崎県	0	0	—	2	1	50%	13	12	92%
鹿児島県	2	2	100%	4	4	100%	12	9	75%
沖縄県	0	0	—	2	1	50%	19	17	89%
都道府県不詳	11	—	—	8	—	—	75	—	—
計	52	38	73%	75	59	79%	776	630	81%

※すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

※注 1 産婦の住所（都道府県）不詳を分母から除外。

表 6

産婦の年齢等（分娩状況別・分娩経験別）

- 「経産婦」は「初産婦」と比べ、年齢が高く、「妊娠週数」と「在院日数」が短い。
- 「初産婦」は「経産婦」と比べ、「社会的ハイスルクへの該当」割合が高い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	27	24	51	37	38	75	330	435	770	394	497	896
	平均値	31.7	33.0	32.3	31.2	33.2	32.2	29.3	32.6	31.2	29.6	32.6	31.3
	標準偏差	5.3	3.0	4.4	4.8	4.2	4.6	4.8	4.9	5.1	4.9	4.7	5.0
身長	標本数	28	24	37	37	38	75	332	430	767	397	492	894
	平均値	156.4	158.1	157.2	159.8	160.0	159.9	158.3	158.4	158.3	158.3	158.5	158.4
	標準偏差	7.9	6.4	7.2	5.4	5.8	5.6	5.4	5.6	5.5	5.6	5.7	5.6
非妊時体重	標本数	27	22	49	37	38	75	331	431	767	395	491	891
	平均値	56.3	54.5	55.5	54.0	55.6	54.8	54.0	54.0	54.0	54.2	54.1	54.2
	標準偏差	10.2	7.9	9.2	9.2	10.7	9.9	10.4	8.6	9.4	10.3	8.8	9.5
出産時の妊娠週数	標本数	28	24	52	37	38	75	334	433	772	399	495	899
	平均値	39.7	38.2	39.0	39.3	38.9	39.1	39.6	39.4	39.5	39.5	39.3	39.4
	標準偏差	1.2	1.2	1.4	1.1	1.0	1.1	1.2	2.1	1.8	1.2	2.1	1.7
母親の在院日数	標本数	28	24	52	37	38	75	322	395	721	387	457	848
	平均値	9.3	8.4	8.9	7.0	5.9	6.4	6.3	5.5	5.8	6.5	5.6	6.1
	標準偏差	2.7	1.5	2.2	1.3	0.8	1.2	1.6	2.6	2.3	1.9	2.6	2.3
社会的ハイスルクへの該当有(%)	標本数	0	0	0	37	38	75	334	435	776	399	497	904
	件数	0	0	0	4	1	5	24	12	36	28	13	41
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	2.6%	6.5%	7.2%	2.8%	4.6%	7.0%	2.6%	4.5%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

表 7

産婦の年齢等（分娩施設別・分娩経験別）

- ・ 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「非妊時体重」が重く、「妊娠週数」が短く、「在院日数」が長い。
- ・ 分娩施設によらず、「社会的ハイリスクへの該当」割合は初産婦が高い。
- ・ 総合・地域周産期母子医療センターでは、他施設と比べ、「社会的ハイリスクへの該当」割合が高い。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
年齢	標本数	73	56	130	66	56	122	194	206	402	61	178	242
	平均値	31.3	33.8	32.4	30.1	31.7	30.8	29.0	32.0	30.6	29.1	33.3	32.2
	標準偏差	5.6	4.2	5.1	5.1	4.8	5.0	4.4	4.5	4.7	4.8	5.0	5.2
身長	標本数	74	57	131	67	56	123	195	205	402	61	174	238
	平均値	158.3	159.0	158.6	157.6	157.5	157.6	158.5	158.6	158.5	158.2	158.4	158.4
	標準偏差	5.8	5.7	5.7	6.1	5.4	5.8	5.4	5.9	5.7	5.7	5.5	5.5
非妊時体重	標本数	73	57	130	65	53	118	195	205	402	62	176	241
	平均値	56.2	55.2	55.8	54.2	55.8	54.9	53.4	54.8	54.2	54.3	52.4	53.0
	標準偏差	12.0	9.8	11.1	8.2	10.9	9.5	7.9	8.7	8.3	15.4	7.5	10.1
出産時の妊娠週数	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	63	177	243
	平均値	39.2	38.6	39.0	39.5	39.1	39.3	39.6	39.3	39.4	39.8	39.5	39.6
	標準偏差	1.5	1.7	1.6	1.2	0.9	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	3.0	2.6
母親の在院日数	標本数	74	57	131	67	56	123	191	205	398	55	139	196
	平均値	7.7	6.7	7.2	7.1	6.3	6.7	6.6	6.1	6.3	4.3	4.4	4.4
	標準偏差	2.3	1.5	2.0	1.4	1.0	1.3	1.3	2.8	2.2	1.3	2.5	2.2
社会的ハイリスク への該当有(%)	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	-	-	-
	件数	13	2	15	5	3	8	10	8	18	-	-	-
	割合	17.6%	3.5%	11.5%	7.5%	5.4%	6.5%	5.1%	3.9%	4.5%	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 助産所票には「社会的ハイリスクへの該当の有無」についての質問項目無し

表 8

入院経路、分娩時間（分娩状況別・分娩経験別）

- ・ その他の分娩の主な入院経路で最も多かったのは「陣痛発来」で約67%、無痛分娩では「無痛分娩目的」が約35%と最も高く、帝王切開では、いずれにも区分されない「その他の入院経路」が約半数を示していた。
- ・ 「入院から分娩第3期終了までの時間」は、無痛分娩のほうがその他の分娩より長かった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）													
陣痛発来	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	496	882
	件数	9	4	7	15	7	22	193	311	508	211	322	537
	割合	12.0%	21.1%	16.9%	40.5%	18.9%	29.7%	68.8%	72.3%	66.5%	54.1%	66.3%	60.9%
前期破水	標本数	25	-	44	37	37	74	328	430	764	390	496	882
	件数	7	-	7	10	2	12	79	61	141	96	63	160
	割合	28.0%	-	16.9%	27.0%	5.4%	16.2%	24.1%	14.2%	18.5%	24.6%	13.0%	18.1%
計画分娩	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	496	882
	件数	4	1	5	2	7	9	38	45	84	44	53	98
	割合	16.0%	5.3%	11.4%	5.4%	18.9%	12.2%	11.6%	10.5%	11.0%	11.3%	10.9%	11.1%
無痛分娩目的	標本数	25	-	44	37	37	74	328	430	764	390	496	882
	件数	1	-	1	8	18	26	1	1	2	10	19	29
	割合	4.0%	-	2.3%	21.6%	48.6%	35.1%	0.3%	0.2%	0.3%	2.6%	3.9%	3.3%
その他	標本数	25	19	44	37	37	74	328	430	764	390	496	882
	件数	10	14	24	2	3	5	17	12	29	29	58	58
	割合	40.0%	73.7%	54.5%	5.4%	8.1%	6.8%	5.2%	2.8%	3.8%	7.4%	6.0%	6.6%
分娩時間（分）													
第1期	標本数	-	-	-	35	38	73	323	421	749	365	461	831
	平均値	-	-	-	65.6	54.2	43.3	629.0	303.8	443.6	624.8	399.8	441.6
	標準偏差	-	-	-	454.8	152.0	385.8	470.5	214.9	384.0	210.8	383.2	383.2
第2期	標本数	-	-	-	34	38	72	322	419	746	361	459	825
	平均値	-	-	-	118.4	38.0	75.9	69.8	23.8	43.6	74.2	24.9	46.4
	標準偏差	-	-	-	100.0	40.4	84.5	104.9	75.5	92.0	104.9	73.2	91.6
第3期	標本数	-	-	-	34	38	72	324	428	758	368	473	847
	平均値	-	-	-	6.3	6.1	6.2	10.9	9.7	10.2	10.3	9.5	9.8
	標準偏差	-	-	-	4.4	4.6	4.5	27.0	21.7	24.1	25.5	20.9	22.9
入院から分娩第3期終了までの時間（分）	標本数	-	-	-	34	37	71	320	426	751	367	469	841
	平均値	-	-	-	1471.4	769.0	1100.1	852.8	420.8	603.6	951.7	449.3	667.2
	標準偏差	-	-	-	1142.2	631.3	973.9	815.9	449.7	666.6	939.9	478.8	758.8
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	-	-	-	34	38	72	315	407	726	362	452	818
	平均値	-	-	-	164.1	197.6	181.8	161.3	160.1	160.4	161.2	161.8	161.3
	標準偏差	-	-	-	85.6	102.1	96.5	149.8	112.4	129.6	145.9	111.8	127.7

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

表 9

入院経路、分娩時間（分娩施設別（病院・診療所）・分娩経験別）

- ・ 分娩施設別にみると、施設にかかわらず、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- ・ 総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院では、初産婦より経産婦の方が「計画分娩」の割合が高い。
- ・ 初産婦の「分娩時間」の平均値について、分娩第1期はそれ以外の病院（640分）、診療所（605分）、総合・地域周産期母子医療センター（587分）の順に長い、分娩第2期は総合・地域周産期母子医療センター（119分）、診療所（65分）、それ以外の病院（47分）の順に長くなっている。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）										
陣痛発来	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397
	件数	30	17	47	30	33	63	99	117	217
	割合	42.3%	32.1%	37.9%	46.2%	58.9%	52.1%	51.3%	57.9%	54.7%
前期破水	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397
	件数	24	12	36	21	5	26	43	30	73
	割合	33.8%	22.6%	29.0%	32.3%	8.9%	21.5%	22.3%	14.9%	18.4%
計画分娩	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397
	件数	11	13	24	8	12	18	25	24	51
	割合	15.5%	24.5%	19.4%	9.2%	21.4%	14.9%	13.5%	11.9%	12.8%
無痛分娩目的	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397
	件数	2	6	8	2	4	6	6	12	18
	割合	2.8%	9.4%	5.6%	3.1%	3.6%	3.3%	3.1%	5.9%	4.5%
その他	標本数	71	53	124	65	56	121	193	202	397
	件数	4	6	10	6	4	10	19	19	38
	割合	5.6%	11.3%	8.1%	9.2%	7.1%	8.3%	9.8%	9.4%	9.6%
分娩時間（分）										
第1期	標本数	62	48	—	66	52	—	179	195	—
	平均値	586.8	239.1	—	640.4	305.2	—	604.8	298.7	—
	標準偏差	445.1	145.2	—	525.1	245.9	—	437.2	217.9	—
第2期	標本数	61	48	—	65	52	—	178	195	—
	平均値	118.7	22.23	—	46.7	19.3	—	64.6	17.7	—
	標準偏差	196.0	27.68	—	47.9	25.1	—	68.0	23.1	—
第3期	標本数	63	51	—	65	53	—	181	197	—
	平均値	11.27	8.8	—	8.6	9.7	—	7.0	5.6	—
	標準偏差	31.30	15.8	—	23.2	23.6	—	22.1	8.5	—
入院から分娩第3期終了までの時間（分）										
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	67	50	—	63	51	—	179	196	—
	平均値	1133.2	693.1	—	920.9	545.7	—	973.5	488.0	—
	標準偏差	1330.9	834.3	—	825.0	545.1	—	880.8	456.3	—
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	64	48	—	59	51	—	182	194	—
	平均値	176.0	167.1	—	161.2	167.2	—	142.5	147.4	—
	標準偏差	120.0	95.9	—	104.2	101.4	—	106.4	85.5	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

表 10

入院経路、分娩時間、搬送の状況（助産所・分娩経験別）

- ・ 助産所では、「陣痛発来」による入院の割合が高く、その次に高いのが「前期破水」であった。
- ・ 助産所からの搬送先では、「嘱託医療機関」の割合が最も高かった。

		助産所		
		初産婦	経産婦	計
主な入院経路（1つのみ選択）				
陣痛発来	標本数	61	175	240
	件数	52	155	210
	割合	85.2%	88.6%	87.5%
前期破水	標本数	61	175	240
	件数	8	16	25
	割合	13.1%	9.1%	10.4%
分娩時間（分）				
第1期	標本数	58	166	227
	平均値	709.2	314.2	413.8
	標準偏差	510.5	204.7	356.1
第2期	標本数	57	164	224
	平均値	87.8	36.0	49.1
	標準偏差	94.1	117.4	113.2
第3期	標本数	59	172	235
	平均値	20.8	14.0	15.6
	標準偏差	28.1	29.6	29.1
入院から分娩第3期終了までの時間（分）				
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	58	172	233
	平均値	707.9	305.8	404.1
	標準偏差	596.7	246.5	404.3
第3期終了から帰室までの時間（分）	標本数	57	159	218
	平均値	204.3	175.9	182.7
	標準偏差	264.4	142.4	181.7

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

		助産所		
		初産婦	経産婦	計
搬送の状況				
搬送あり（複数選択）	標本数	64	178	247
	件数	9	12	21
	割合	14.1%	6.7%	8.5%
分娩期（母体搬送）	標本数	10	13	23
	件数	7	6	13
	割合	70.0%	46.2%	56.5%
産褥入院中	標本数	9	12	21
	件数	1	2	3
	割合	11.1%	16.7%	14.3%
新生児（入院中）	標本数	9	13	22
	件数	2	5	7
	割合	22.2%	38.5%	31.8%
搬送先（1つのみ選択）				
嘱託医	標本数	9	—	21
	件数	1	—	1
	割合	11.1%	—	4.8%
嘱託医療機関	標本数	10	12	22
	件数	6	5	11
	割合	60.0%	41.7%	50.0%
連携医療機関	標本数	9	12	21
	件数	1	4	5
	割合	11.1%	33.3%	23.8%
その他の医療機関	標本数	9	13	22
	件数	2	4	6
	割合	22.2%	30.8%	27.3%

表 11

分娩時医療行為（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 帝王切開・無痛分娩の方がその他の分娩に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬点滴」「血管確保」「陣痛誘発」の実施割合が高かった。
- 分娩施設にかかわらず、初産婦の方が経産婦に比べ、「子宮頸管拡張」「感染予防の抗菌薬内服」「感染予防の抗菌薬点滴」「陣痛促進」「会陰切開」「会陰縫合」の実施割合が高かった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
子宮頸管拡張	件数	8	1	9	9	18	27	47	34	82	54	53	119
	割合	28.6%	4.2%	17.3%	24.3%	47.4%	36.0%	14.0%	7.8%	10.6%	16.0%	10.7%	13.1%
	割合	6	1	7	11	11	22	76	57	133	92	69	162
感染予防の抗菌薬内服	件数	19	16	35	15	4	19	75	80	155	109	70	179
	割合	67.9%	66.7%	67.3%	40.5%	10.5%	25.3%	22.4%	18.1%	17.1%	23.3%	13.9%	17.0%
	割合	10	1	11	17	25	42	79	65	144	100	92	192
感染予防の抗菌薬点滴	件数	28	21	49	36	38	74	287	301	591	351	360	714
	割合	100.0%	87.5%	94.2%	97.3%	100.0%	98.7%	85.7%	69.2%	76.1%	87.8%	72.4%	79.0%
	割合	7	2	9	22	15	37	96	67	163	125	84	209
陣痛促進	件数	25.0%	8.3%	17.3%	59.5%	39.5%	49.3%	28.7%	15.4%	21.0%	31.3%	16.9%	23.1%
	割合	10	1	11	17	25	42	79	65	144	100	92	192
	割合	35.7%	4.2%	21.2%	45.9%	68.4%	67.3%	21.6%	14.9%	17.9%	25.0%	18.5%	21.3%
陣痛誘発	件数	3	—	3	26	18	44	206	70	276	235	88	323
	割合	10.7%	—	5.8%	70.3%	47.4%	58.7%	61.5%	16.1%	35.5%	58.8%	17.7%	35.7%
	割合	3	—	3	33	31	64	264	218	483	300	249	550
会陰縫合	件数	10.7%	—	5.8%	89.2%	81.6%	85.3%	78.8%	50.1%	62.2%	75.0%	50.1%	60.8%
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
子宮頸管拡張	件数	18	13	31	12	6	18	34	34	69	—	—	—
	割合	24.3%	22.8%	23.7%	17.9%	10.7%	14.6%	17.4%	16.5%	17.1%	—	—	—
	割合	14	4	18	16	9	25	63	56	119	—	—	—
感染予防の抗菌薬内服	件数	18.9%	7.0%	13.7%	23.9%	16.1%	20.3%	32.3%	27.2%	29.5%	—	—	—
	割合	24	15	39	26	8	34	59	47	106	—	—	—
	割合	32.4%	26.3%	29.8%	38.8%	14.3%	27.6%	30.3%	22.8%	26.3%	—	—	—
感染予防の抗菌薬点滴	件数	71	53	124	67	52	119	190	203	395	23	52	76
	割合	95.9%	93.0%	94.7%	100.0%	92.9%	96.7%	97.4%	98.5%	98.0%	35.9%	29.2%	30.9%
	割合	21	8	29	20	10	30	54	66	120	—	—	—
陣痛促進	件数	28.4%	14.0%	22.1%	29.9%	17.9%	24.4%	43.1%	32.0%	37.2%	—	—	—
	割合	22	19	41	17	18	35	61	55	117	—	—	—
	割合	29.7%	33.3%	31.3%	25.4%	32.1%	28.5%	31.3%	26.7%	29.0%	—	—	—
陣痛誘発	件数	45	17	62	53	19	72	187	80	267	—	2	2
	割合	60.8%	29.8%	47.3%	79.1%	33.9%	88.9%	70.3%	24.3%	46.4%	—	1.1%	0.8%
	割合	57	39	96	56	44	100	171	148	320	16	18	34
会陰縫合	件数	77.0%	68.4%	73.3%	83.6%	78.6%	81.3%	87.7%	71.8%	79.4%	25.0%	10.1%	13.8%
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	割合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

表 12

入院中の助産ケア（分娩状況別・分娩経験別）

- 入院中の助産ケアの実施回数や指導時間は、経産婦に比べて初産婦の方が多い。
- 「母子同室」については、分娩経験の有無にかかわらず、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順に実施割合が高い。
- 「授乳指導」については、平均的な1日あたりの回数が4.6回、1入院あたりの合計回数が19.4回であり、産後入院中は多数回の授乳指導が行われている。
- 「沐浴指導」の実施回数は、初産婦で平均1.7回、経産婦で1.5回であり、経産婦にも実施されている。
- 「育児技術指導」の延べ時間は、初産婦で平均257分、経産婦で平均218分であり、「退院指導」の時間は、初産婦で平均45分、経産婦で平均42分であった。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
	件数	24	19	43	32	34	66	241	228	470	297	281	579
	割合	85.7%	79.2%	82.7%	86.5%	89.5%	88.0%	71.9%	52.4%	60.5%	74.3%	56.5%	64.0%
授乳指導（平均的な1日あたりの回数）	標本数	28	21	49	37	37	74	322	414	737	387	472	866
	平均値	4.5	4.5	4.5	3.8	4.2	4.0	5.2	4.2	4.7	5.1	4.2	4.6
	標準偏差	2.4	2.2	2.3	2.4	1.9	2.1	4.2	2.8	3.5	3.9	2.7	3.3
授乳指導（1入院あたりの合計回数）	標本数	28	21	49	37	37	74	319	412	737	384	470	860
	平均値	26.4	19.4	23.4	16.8	15.4	16.1	22.0	17.4	19.4	21.8	17.3	19.4
	標準偏差	16.8	11.7	15.1	12.9	8.6	10.9	13.5	13.8	13.8	13.8	13.4	13.7
沐浴指導（1入院あたりの合計回数）	標本数	28	21	49	37	36	73	326	417	750	391	474	872
	平均値	1.6	1.2	1.4	1.2	0.9	1.0	1.7	1.5	1.6	1.7	1.5	1.6
	標準偏差	1.2	0.6	1.0	0.6	0.5	0.6	1.4	1.5	1.5	1.3	1.5	1.4
育児技術指導（延べ時間：分）	標本数	27	21	48	37	33	70	312	398	716	376	452	834
	平均値	271.5	226.4	251.8	180.2	183.5	171.2	267.1	220.6	246.9	256.9	218.1	235.4
	標準偏差	361.2	215.6	304.1	162.7	332.0	255.1	383.6	935.1	741.7	367.0	883.0	695.1
退院指導時間（分）	標本数	28	21	49	37	37	74	323	415	744	389	473	867
	平均値	41.8	38.1	40.2	41.5	36.7	38.6	46.2	42.3	44.2	45.4	41.6	43.5
	標準偏差	35.8	18.0	29.3	23.3	18.4	21.0	53.0	31.2	42.2	49.8	29.9	40.2

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経腔分娩等が該当する。

表 13

入院中の助産ケア（分娩施設別・分娩経験別）

- 「授乳指導」については、総合・地域周産期母子医療センターやそれ以外の病院での実施回数が多く、「育児技術指導」時間も長い傾向にある。
- 「沐浴指導」は、助産所での実施回数が多く、「退院指導」の時間も長い傾向にある。
- 「授乳指導」の平均的な1日あたりの実施回数は、総合・地域周産期母子医療センターで平均5.3回、それ以外の病院で平均5.0回、診療所で平均4.2回、助産所で平均4.7回であった。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所 ※注 1		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
母子同室	標本数	74	57	131	67	56	123	195	206	403	—	—	—
	件数	60	45	105	59	49	108	178	187	365	—	—	—
	割合	81.1%	78.9%	80.2%	88.1%	87.5%	87.8%	91.3%	90.8%	90.8%	—	—	—
	割合	81.1%	78.9%	80.2%	88.1%	87.5%	87.8%	91.3%	90.8%	90.8%	—	—	—
授乳指導（平均的な1日あたりの回数）	標本数	73	48	121	63	54	117	193	201	396	58	169	232
	平均値	5.7	4.6	5.3	5.2	4.7	5.0	4.4	4.0	4.2	6.2	4.2	4.7
	標準偏差	2.8	2.8	2.8	2.3	2.5	2.3	2.2	2.2	2.2	4.0	3.2	3.5
	標準偏差	2.8	2.8	2.8	2.3	2.5	2.3	2.2	2.2	2.2	4.0	3.2	3.5
授乳指導（1入院あたりの合計回数）	標本数	72	48	120	62	54	116	193	200	395	57	168	229
	平均値	27.6	22.0	25.3	19.8	20.7	20.2	18.9	15.6	17.3	26.4	16.9	19.4
	標準偏差	15.7	15.1	15.6	10.9	13.9	12.3	11.1	10.4	10.9	18.3	15.3	16.5
	標準偏差	15.7	15.1	15.6	10.9	13.9	12.3	11.1	10.4	10.9	18.3	15.3	16.5
沐浴指導（1入院あたりの合計回数）	標本数	74	49	123	65	55	120	195	200	397	57	170	232
	平均値	1.5	1.0	1.3	1.6	1.2	1.4	1.5	1.2	1.4	2.6	2.0	2.2
	標準偏差	1.0	0.5	0.9	1.4	0.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.7
	標準偏差	1.0	0.5	0.9	1.4	0.5	1.1	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.7
育児技術指導（延べ時間：分）	標本数	73	46	119	56	48	104	190	192	384	57	166	227
	平均値	245.4	263.3	252.3	314.8	239.1	279.9	212.3	231.0	221.2	363.2	184.7	230.4
	標準偏差	316.0	407.0	352.4	536.5	380.1	470.1	260.3	1302.0	937.5	490.2	283.5	352.9
	標準偏差	316.0	407.0	352.4	536.5	380.1	470.1	260.3	1302.0	937.5	490.2	283.5	352.9
退院指導時間（分）	標本数	73	50	123	65	54	119	193	203	398	57	166	227
	平均値	40.9	39.7	40.4	41.2	43.6	42.3	39.0	32.7	35.8	77.8	52.5	59.4
	標準偏差	18.0	19.0	18.3	17.1	18.7	17.8	21.3	16.4	19.2	116.6	42.4	69.6
	標準偏差	18.0	19.0	18.3	17.1	18.7	17.8	21.3	16.4	19.2	116.6	42.4	69.6

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 注 1 助産所票には母子同室の質問項目無し

表 14

新生児の概要（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児の「出生時の体重」は、全般的に「経産婦」の方が「初産婦」よりも重く、「在院日数」は、「初産婦」の方が「経産婦」よりも長い。他方で、標準偏差をみると、両者とも、「経産婦」の方が「初産婦」よりもばらつきが大きい。
- 新生児の「出生時の体重」は、その他の分娩＞無痛分娩＞帝王切開の順で重い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	28	24	52	37	38	75	332	433	771	397	495	897
	平均値	3,054	2,920	2,992	3,018	3,067	3,043	3,023	3,121	3,079	3,024	3,107	3,071
	標準偏差	338.3	338.7	341.8	357.3	280.5	319.5	357.5	365.5	365.0	365.4	360.5	360.6
	標準偏差	338.3	338.7	341.8	357.3	280.5	319.5	357.5	365.5	365.0	365.4	360.5	360.6
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	26	24	50	37	38	75	329	429	755	392	491	890
	平均値	8.4	8.2	8.3	8.8	8.3	8.5	8.9	8.4	8.6	6.0	5.5	5.7
	標準偏差	2.8	3.9	3.3	0.9	0.6	0.8	1.7	2.6	2.2	1.8	2.6	2.3
	標準偏差	2.8	3.9	3.3	0.9	0.6	0.8	1.7	2.6	2.2	1.8	2.6	2.3

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
出生時の体重	標本数	74	56	130	67	56	123	195	206	403	61	177	242
	平均値	3,022	3,070	3,043	2,996	3,088	3,038	3,031	3,084	3,059	3,037	3,150	3,125
	標準偏差	398.1	441.0	416.2	360.3	293.5	333.5	342.0	338.4	340.0	344.5	375.3	370.8
	標準偏差	398.1	441.0	416.2	360.3	293.5	333.5	342.0	338.4	340.0	344.5	375.3	370.8
在院日数（出生及び退院日を含める）	標本数	72	56	128	67	56	123	193	204	399	60	175	240
	平均値	7.1	7.9	7.4	6.8	6.3	6.5	5.9	5.5	5.7	4.3	4.5	4.4
	標準偏差	2.7	5.2	4.0	1.8	1.9	1.8	1.0	1.0	1.0	1.3	2.3	2.1
	標準偏差	2.7	5.2	4.0	1.8	1.9	1.8	1.0	1.0	1.0	1.3	2.3	2.1

※ 本調査の実施期間は1か月であったが、助産所の在院日数で1件30日を大きく上回る日数があったため外れ値として除外。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

表 15

新生児へ提供した医療等（分娩状況別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で多い。「産科医」では、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で多い。
- 検査等について、「アブニアセンサー装着」は全体の47%に実施され、「新生児聴覚検査」は全体の87%に実施されていた。
- 無痛分娩・その他の分娩に比べ、帝王切開で出生直後に「血糖測定対象かどうか」「SpO2モニター装着」の割合が高い。
- 治療については、帝王切開・その他の分娩と比べ、無痛分娩で「光線療法」の割合が高い。

診療		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	患者数 26	32	48	33	37	70	253	290	485	512	289	603
		平均値 19	8	25	19	8	13	27	18	13	27	19	13
		標準偏差 9.9	6.4	21	8.3	1.6	1.9	9.6	9.9	3.0	9.6	9.9	3.0
	産科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	患者数 27	25	49	35	38	73	285	244	511	327	304	633
		平均値 2.2	1.7	2.0	2.3	1.7	2.0	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8	1.7
検査等	胎産期による観察日数 ※注2	患者数 2.3	2.3	2.3	2.3	1.9	1.9	2.1	1.8	2.0	2.1	1.8	2.0
		平均値 —	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8	4.8	4.9	4.8
		標準偏差 —	—	—	—	—	—	1.7	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6
	採血検査の項目 ※注3	患者数 28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
		割合 52.1%	33.3%	48.1%	59.5%	63.2%	61.3%	58.2%	64.3%	60.9%	56.0%	63.2%	60.3%
治療等	黄疽検査 ※注4	患者数 27	25	49	35	37	72	328	418	752	390	477	873
		割合 95.4%	91.1%	94.3%	94.6%	97.4%	96.0%	97.9%	96.1%	96.8%	97.9%	96.0%	96.6%
	出生直後血糖測定対象かどうか	患者数 28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
		割合 28.6%	50.0%	38.8%	30.4%	34.2%	33.3%	25.0%	20.9%	23.3%	25.8%	25.8%	24.9%
	SpO2モニター装着 (出生直後等)	患者数 27	20	47	31	34	65	276	323	606	334	377	717
新生児への処置・ケア	アブニアセンサー装着	患者数 19	21	40	23	25	48	187	264	352	199	242	441
		割合 51.9%	50.0%	59.6%	59.5%	65.8%	62.7%	58.8%	61.3%	58.3%	57.0%	60.0%	59.3%
	先天性代謝異常等検査	患者数 28	25	53	38	38	74	321	421	749	385	482	874
		割合 100.0%	95.8%	98.1%	97.3%	100.0%	98.7%	98.8%	96.8%	96.4%	96.3%	97.0%	96.7%
	新生児聴覚検査	患者数 28	25	53	38	38	74	321	421	749	385	482	874
治療等	保育器収容 (酸素投与のための)	患者数 5	6	11	2	3	5	23	15	38	30	24	55
		割合 17.9%	23.0%	21.3%	5.4%	7.9%	6.7%	6.9%	3.4%	5.0%	7.5%	4.8%	6.1%
	保育器収容 (保温のための)	患者数 45	41	86	37	37	74	306	341	647	371	413	784
		割合 46.4%	45.8%	46.4%	16.2%	13.2%	14.7%	14.9%	8.5%	14.9%	10.7%	12.4%	11.4%
	保温 (保育器収容を含む) ※注2	患者数 —	—	—	—	—	—	45	153	172	45	123	172
新生児への処置・ケア	光線療法 ※注1	患者数 1	—	1	4	3	8	38	23	60	43	26	69
		割合 3.6%	4.2%	3.8%	10.8%	7.9%	8.3%	11.3%	7.1%	10.8%	10.8%	4.9%	8.1%
	換気装置	患者数 27	21	48	25	25	50	219	400	619	318	445	763
		割合 96.4%	87.5%	92.3%	86.5%	75.7%	80.0%	95.2%	92.0%	93.4%	94.5%	90.3%	92.3%
	皮膚ケア	患者数 23	19	42	21	24	45	263	336	599	303	379	682
新生児への処置・ケア	ビタミンド2内服	患者数 27	21	48	25	25	50	219	400	619	318	445	763
		割合 96.4%	87.5%	92.3%	94.6%	100.0%	97.3%	97.9%	97.5%	97.6%	97.3%	97.3%	97.3%
	沐浴・ドレニアア (清拭) の回数 (入院中に限る)	患者数 25	25	41	36	36	72	309	409	724	370	467	843
		平均値 5.4	7.0	6.1	4.1	4.3	4.2	4.8	4.3	4.3	4.5	4.4	4.6
		標準偏差 3.8	4.5	4.1	2.0	1.9	1.3	1.7	1.6	2.3	2.1	2.7	2.4

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。
 ※ 患者票の出産経緯（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注1 病院・診療所のみ
 ※ 注2 助産所のみ
 ※ 注3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」
 ※ 注4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疽計測定」

表 16

新生児へ提供した医療等（分娩施設別・分娩経験別）

- 新生児への「入院中の診療日数」については、「小児科医」では総合・地域周産期母子医療センター＞診療所＞それ以外の病院の順で多い。「産科医」では、総合・地域周産期母子医療センターとそれ以外の病院＞診療所の順で多い。
- 検査等について、「アブニアセンサー装着」はそれ以外の病院72%、総合・地域周産期母子医療センター67%、診療所50%、助産所19%の順で割合が高い。
- 治療については、それ以外の病院・診療所に比べ、総合・地域周産期母子医療センターで「光線療法」の割合が高い。

診療		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
診療	小児科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	患者数 74	96	130	64	90	114	174	183	359	—	—	—
		平均値 3.8	4.7	4.2	3.0	3.0	3.0	0.9	0.7	0.8	—	—	—
		標準偏差 3.2	6.2	4.7	2.8	2.8	2.8	1.3	1.1	1.2	—	—	—
	産科医による診療日数 (入院中に限る) ※注1	患者数 74	54	128	66	90	116	187	200	389	—	—	—
		平均値 0.9	0.7	0.8	1.2	1.4	1.3	2.6	2.2	2.4	—	—	—
検査等	胎産期による観察日数 ※注2	患者数 1.6	1.9	1.4	2.3	1.9	2.2	2.0	1.8	1.9	59	167	233
		平均値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	4.8	4.9	4.8
		標準偏差 —	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.7	1.6
	採血検査の項目 ※注3	患者数 49	32	81	32	52	64	101	115	218	42	135	181
		割合 66.2%	56.1%	61.8%	47.8%	57.1%	52.0%	51.8%	58.8%	64.1%	65.6%	75.8%	73.3%
治療等	黄疽検査 ※注4	患者数 72	54	126	65	83	118	193	198	393	60	172	236
		割合 97.3%	94.7%	96.2%	97.0%	94.6%	95.9%	99.0%	96.1%	97.3%	93.8%	96.6%	95.5%
	出生直後血糖測定対象かどうか	患者数 50	21	71	16	11	27	51	50	101	10	54	66
		割合 40.8%	36.8%	38.9%	23.9%	19.6%	22.0%	26.3%	25.1%	25.8%	19.1%	18.6%	18.6%
	SpO2モニター装着 (出生直後等)	患者数 68	48	116	62	92	114	161	165	328	43	112	159
新生児への処置・ケア	アブニアセンサー装着	患者数 56	35	91	38	41	89	107	99	203	14	34	48
		割合 75.7%	55.1%	67.2%	57.7%	67.9%	77.4%	84.9%	46.1%	50.4%	21.9%	19.1%	19.4%
	先天性代謝異常等検査	患者数 73	55	128	66	96	122	192	203	397	54	168	227
		割合 98.6%	95.9%	97.7%	98.9%	100.0%	99.2%	98.9%	98.8%	98.9%	84.4%	94.4%	91.9%
	新生児聴覚検査	患者数 74	55	129	67	96	123	193	203	397	37	100	139
治療等	保育器収容 (酸素投与のための)	患者数 11	6	20	5	3	8	14	12	27	—	—	—
		割合 14.9%	10.8%	15.3%	7.5%	5.4%	6.5%	7.2%	5.8%	6.7%	—	—	—
	保育器収容 (保温のための)	患者数 2	1	3	—	—	—	2	38	40	—	—	—
		割合 2.8%	2.1%	2.3%	10.4%	16.1%	13.0%	15.9%	18.9%	15.4%	—	—	—
	保温 (保育器収容を含む) ※注2	患者数 —	—	—	—	—	—	—	—	—	45	123	172
新生児への処置・ケア	光線療法 ※注1	患者数 1	—	1	—	—	—	—	—	—	70.3%	69.1%	69.6%
		割合 1.3%	—	0.8%	13.0%	11.3%	7.1%	—	—	—	—	—	—
	換気装置	患者数 70	45	115	66	93	119	186	187	375	56	164	228
		割合 94.6%	78.9%	87.8%	98.9%	94.6%	96.7%	95.4%	90.8%	93.1%	87.5%	92.1%	91.1%
	皮膚ケア	患者数 56	38	94	56	47	103	145	139	285	46	165	206
新生児への処置・ケア	ビタミンド2内服	患者数 70	55	125	66	95	121	194	204	403	59	170	234
		割合 94.6%	93.0%	93.9%	98.9%	100.0%	99.2%	99.0%	99.0%	99.3%	92.2%	95.5%	94.7%
	沐浴・ドレニアア (清拭) の回数 (入院中に限る)	患者数 68	54	122	62	93	115	182	192	375	58	168	231
		平均値 4.8	6.2	5.5	3.7	5.3	5.5	4.8	4.9	4.5	3.9	3.7	3.8
		標準偏差 3.3	5.9	4.6	2.0	1.9	2.0	1.5	1.5	1.5	1.9	1.9	1.8

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
 ※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。
 ※ 患者票の出産経緯（初産・経産）に係る情報に欠損があるため、初産婦と経産婦の件数の合計が総計の件数と一致しない場合がある。

※ 注1 病院・診療所のみ
 ※ 注2 助産所のみ
 ※ 注3 助産所の場合は、「採血（足底からの採血を含む）」
 ※ 注4 助産所の場合は、「ミノルタ黄疽計測定」

表 17

提供したサービス等（分娩状況別・分娩施設別・分娩経験別）

- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、「初産婦」に比べて「経産婦」の方が割合が高い。
- 「お祝い膳」の提供は、助産所が最も割合が低い。
- 「お祝い膳」以外のサービス（写真撮影、足形、エステ）の提供は、総合・地域周産期母子医療センターが他施設と比べて割合が低い。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		28	24	52	37	38	75	335	435	777	400	497	904
お祝い膳	件数	21	17	38	31	27	58	234	257	496	286	301	592
	割合	75.0%	70.8%	73.1%	83.8%	71.1%	77.3%	69.9%	59.1%	63.8%	71.5%	60.6%	65.5%
写真撮影	件数	18	12	30	20	21	41	201	294	500	239	327	571
	割合	64.3%	50.0%	57.7%	54.1%	55.3%	54.7%	60.0%	67.6%	64.4%	59.8%	65.8%	63.2%
足形	件数	11	9	20	14	18	32	167	243	416	192	270	468
	割合	39.3%	37.5%	38.5%	37.8%	47.4%	42.7%	49.9%	55.9%	53.5%	48.0%	54.3%	51.8%
エステ	件数	11	5	16	18	21	39	104	157	266	133	183	321
	割合	39.3%	20.8%	30.8%	48.6%	55.3%	52.0%	31.0%	36.1%	34.2%	33.3%	36.8%	35.5%

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数		74	57	131	67	56	123	195	206	403	64	178	247
お祝い膳	件数	63	39	102	54	44	98	148	170	319	21	48	73
	割合	85.1%	68.4%	77.9%	80.6%	78.6%	79.7%	75.9%	82.5%	79.2%	32.8%	27.0%	29.6%
写真撮影	件数	15	15	30	34	33	67	155	168	325	35	111	149
	割合	20.3%	26.3%	22.9%	50.7%	58.9%	54.5%	79.5%	81.6%	80.6%	54.7%	62.4%	60.3%
足形	件数	20	9	29	32	28	60	104	123	228	36	110	151
	割合	27.0%	15.8%	22.1%	47.8%	50.0%	48.8%	53.3%	59.7%	56.6%	56.3%	61.8%	61.1%
エステ	件数	4	—	4	14	15	29	101	110	211	14	58	77
	割合	5.4%	—	3.1%	20.9%	26.8%	23.6%	51.8%	53.4%	52.4%	21.9%	32.6%	31.2%

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

表 18

費用（分娩状況別・分娩経験別）（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」の平均値は、無痛分娩（603,338円）＞帝王切開（511,299円）＞その他の分娩（485,636円）の順で高い。
- 「室料差額」「分娩介助料」「処置・手当料」を除き、「経産婦」と比べ、「初産婦」の方が高い。「産婦合計負担額」の平均は、「経産婦」が476,365円に対して、「初産婦」は523,711円。

		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	5	2	7	30	31	61	283	374	662	318	407	730
	平均値	184,400	84,000	156,714	134,720	105,845	120,046	126,401	118,161	121,520	128,097	117,086	121,725
	標準偏差	201,059	21,213	171,537	67,783	69,870	69,810	63,943	84,288	76,063	68,003	83,096	76,815
	標準範囲	10	17	27	18	20	38	119	91	212	147	128	277
室料差額	標本数	89,300	59,142	67,793	49,699	100,780	76,984	37,804	37,889	37,889	42,859	49,651	45,708
	平均値	87,810	42,901	63,908	47,899	289,458	190,502	23,816	26,182	24,348	57,190	106,180	77,043
	標準偏差	20	22	42	15	12	27	81	47	128	116	81	197
	標準範囲	258,708	221,923	238,011	276,733	398,308	312,978	282,447	249,910	281,516	286,158	288,283	287,050
分娩介助料	標本数	77,124	88,438	83,989	103,637	83,621	102,183	72,582	88,662	78,515	77,572	97,145	85,928
	平均値	262,000	233,000	252,333	332,573	310,686	322,105	286,706	288,111	287,151	290,962	289,255	289,504
	標準偏差	25,456	24,583	24,583	105,982	73,632	91,615	80,575	73,391	76,455	83,970	73,401	77,966
	標準範囲	17	18	35	33	34	67	275	379	660	325	431	762
新生児管理保育料	標本数	94,033	73,724	83,588	70,565	70,056	70,307	57,722	54,138	55,548	60,925	56,212	58,134
	平均値	37,544	38,137	38,686	28,521	71,432	54,275	23,924	23,209	23,513	26,640	30,893	29,150
	標準偏差	13	12	25	29	30	59	260	293	558	302	335	642
	標準範囲	28,518	13,873	21,488	36,786	16,157	26,297	17,209	16,631	16,283	19,576	18,615	17,406
検査・薬剤料	標本数	33,071	13,306	26,149	33,725	12,485	27,115	16,107	16,392	18,711	20,236	15,054	17,767
	平均値	7	11	18	25	24	49	227	302	584	259	337	601
	標準偏差	20,400	26,793	24,282	60,747	56,519	61,827	23,883	36,235	29,930	29,872	34,217	32,851
	標準範囲	25,336	36,199	31,701	54,694	68,037	61,957	20,434	28,816	28,714	28,669	33,654	31,546
処置・手当料	標本数	21	23	44	37	34	71	304	403	713	352	444	804
	平均値	12,871	12,174	12,523	12,000	12,383	12,169	12,056	11,991	12,019	12,080	12,027	12,050
	標準偏差	2,519	834	1,804	0	2,038	1,424	674	603	781	603	781	824
	標準範囲	20	22	42	37	34	71	297	388	691	354	444	804
産科医療補償制度の掛金	標本数	19	22	41	19	21	40	110	78	189	148	121	270
	平均値	101,443	81,032	90,490	61,540	67,163	64,492	30,591	17,981	25,227	43,660	37,980	40,954
	標準偏差	64,796	62,924	63,830	114,510	147,375	131,142	38,448	23,047	33,414	61,778	73,502	67,155
	標準範囲	20	22	42	37	34	71	295	390	690	352	444	804
産婦合計負担額	標本数	592,841	437,170	511,299	639,012	564,817	603,338	504,562	470,891	485,636	523,711	476,365	497,385
	平均値	224,004	227,430	236,512	229,004	225,014	228,589	170,660	175,715	173,662	185,670	184,070	185,614
	標準偏差	19	23	42	37	34	71	295	390	690	352	444	804
	標準範囲	458,358	429,861	442,752	499,411	511,590	508,401	491,242	487,353	488,626	489,888	495,681	486,998
代理受取額	標本数	58,145	96,025	81,478	3,278	71,390	80,064	28,671	46,999	44,034	51,250	56,168	50,290
	平均値	101,443	81,032	90,490	61,540	67,163	64,492	30,591	17,981	25,227	43,660	37,980	40,954
	標準偏差	64,796	62,924	63,830	114,510	147,375	131,142	38,448	23,047	33,414	61,778	73,502	67,155
	標準範囲	20	22	42	37	34	71	295	390	690	352	444	804

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経産分娩等が該当する。

表 19

費用（分娩施設別・分娩経験別）（出産育児一時金の直接支払制度専用請求書記載内容）

- 「産婦合計負担額」は、総合・地域周産期母子医療センター（537,358円）＞診療所（513,405円）＞それ以外の病院（503,551円）＞助産所（448,154円）の順で高かった。
- 「入院料」、「室料差額」、「一部負担金等」では総合・地域周産期母子医療センターが高いが、それ以外の項目については、診療所が高い傾向。

		総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
入院料	標本数	44	28	82	53	40	93	165	175	342	56	154	213
	平均値	208,298	197,013	203,066	162,650	183,990	188,921	103,369	90,145	96,339	105,245	118,314	114,930
	標準偏差	64,410	77,418	70,514	71,022	71,710	71,060	54,223	38,571	47,190	34,809	105,340	91,459
	最大値	33	25	58	31	22	53	81	80	163	2	1	3
室料差額	平均値	61,361	48,848	55,967	38,990	45,773	41,806	36,489	51,277	43,781	18,800	25,000	20,867
	標準偏差	55,618	23,327	44,775	21,675	27,455	24,225	30,126	183,206	95,709	8,768	—	7,159
	最大値	32	24	56	30	14	44	54	43	97	—	—	—
	最小値	243,691	251,950	247,037	225,051	170,436	207,674	280,850	290,774	288,249	—	—	—
分娩助産料 ※注 1	平均値	78,822	96,642	86,157	61,266	81,855	72,244	78,137	84,308	80,653	—	—	—
	標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	最大値	31	25	56	31	22	53	81	80	163	2	1	3
	最小値	243,691	251,950	247,037	225,051	170,436	207,674	280,850	290,774	288,249	—	—	—
分娩料	平均値	255,345	215,484	243,639	236,852	245,578	242,929	312,147	308,843	309,375	286,514	290,622	289,668
	標準偏差	105,638	71,019	94,545	73,785	90,638	87,744	77,814	68,455	74,257	73,142	64,181	66,009
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
新生児管理保育料	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
検査・薬剤料	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
処置・手当料	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
産科医療補償制度の掛金	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
その他	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
一部負担金等 ※注 1	平均値	19,794	11,627	16,109	17,958	14,707	16,934	22,158	20,192	21,105	11,382	10,328	10,505
	標準偏差	25,414	8,167	19,930	18,685	13,146	16,482	20,826	17,851	19,393	8,327	9,998	9,483
	最大値	41	32	73	47	42	89	179	191	372	58	166	228
	最小値	54,734	61,062	57,508	55,724	56,718	56,193	67,824	62,459	64,954	48,226	47,961	47,963
産婦合計負担額	平均値	569,095	493,892	537,358	513,152	492,178	503,551	532,237	495,356	513,405	455,500	444,761	448,154
	標準偏差	165,715	120,063	188,529	162,997	132,969	149,577	189,849	181,818	185,924	200,500	189,285	190,601
	最大値	56	47	103	51	45	96	167	187	356	—	—	—
	最小値	473,394	455,181	469,646	480,498	470,004	475,579	498,284	494,606	495,097	—	—	—
代理受取額 ※注 1	平均値	45,629	109,166	80,709	46,916	53,854	50,294	7,964	34,321	34,783	—	—	—
	標準偏差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	最大値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	最小値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

※ 注 1 助産所票には質問項目無し

表 20

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩状況・分娩経験別）

- 正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出30分前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- その他の分娩で「医師」・「看護師」・「准看護師」の最小値に「0」があるのは、助産所が含まれるためである。

標本数		帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
		初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
		22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時間前後30分													
産婦人科医	平均値	1.818	1.706	1.756	1.412	1.294	1.348	1.018	0.626	0.788	1.111	0.721	0.888
	標準偏差	0.588	0.588	0.582	0.609	0.579	0.590	0.725	0.639	0.698	0.738	0.686	0.730
	最小値	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
	最大値	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
麻酔科医	平均値	0.318	0.588	0.439	0.147	0.265	0.217	0.025	0.003	0.012	0.057	0.046	0.052
	標準偏差	0.716	0.618	0.673	0.359	0.448	0.415	0.216	0.051	0.144	0.300	0.221	0.259
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	3	2	3	1	1	1	3	1	3	3	2	3
小児科新生児科医	平均値	0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.065	0.021	0.040	0.072	0.035	0.051
	標準偏差	0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.247	0.143	0.196	0.292	0.183	0.237
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	3	1	3
助産師	平均値	2.136	1.706	1.927	1.794	2.000	1.928	2.047	2.081	2.061	2.027	2.060	2.042
	標準偏差	1.167	1.105	1.127	0.946	0.921	0.960	1.029	0.945	0.974	1.031	0.951	0.981
	最小値	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0
	最大値	5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7
看護師	平均値	1.136	1.059	1.049	0.294	0.265	0.275	0.513	0.327	0.404	0.532	0.351	0.426
	標準偏差	1.246	1.249	1.224	0.629	0.511	0.566	0.740	0.632	0.683	0.789	0.671	0.726
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4
准看護師	平均値	0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.032	0.071	0.058	0.045	0.083	0.069
	標準偏差	0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.197	0.286	0.263	0.235	0.316	0.291
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	2	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	3
その他	平均値	—	0.118	0.049	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.022
	標準偏差	—	0.332	0.218	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.146
	最小値	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
	最大値	—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

表 21

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- ・ 正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出1時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.1人であった。
- ・ 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で、投入される人数が多かった。
- ・ 「助産師」は、その他の分娩が最も投入人数が多く、帝王切開と無痛分娩は差がなかった。
- ・ 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
標本数			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後1時間														
産婦人科医	平均値	1.818	1.706	1.756	1.412	1.324	1.362	1.047	0.628	0.802	1.135	0.725	0.901	
	標準偏差	0.588	0.588	0.582	0.609	0.589	0.593	0.767	0.642	0.722	0.770	0.691	0.749	
	最小値	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
	最大値	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	
麻酔科医	平均値	0.364	0.588	0.463	0.176	0.265	0.232	0.025	0.003	0.012	0.063	0.046	0.055	
	標準偏差	0.902	0.618	0.778	0.387	0.448	0.425	0.216	0.051	0.144	0.337	0.221	0.278	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4	
小児科新生児科医	平均値	0.227	0.176	0.195	0.029	0.118	0.072	0.076	0.021	0.044	0.081	0.035	0.055	
	標準偏差	0.685	0.393	0.558	0.171	0.327	0.261	0.279	0.143	0.213	0.314	0.183	0.249	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3	
助産師	平均値	2.318	1.824	2.073	1.912	2.059	2.014	2.123	2.157	2.135	2.114	2.136	2.121	
	標準偏差	1.211	1.015	1.127	0.965	0.952	0.978	1.046	0.962	0.991	1.049	0.963	0.997	
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	最大値	5	5	5	4	4	4	7	7	7	7	7	7	
看護師	平均値	1.136	1.235	1.122	0.324	0.265	0.290	0.527	0.359	0.429	0.547	0.386	0.453	
	標準偏差	1.246	1.251	1.229	0.638	0.511	0.571	0.754	0.664	0.707	0.800	0.705	0.749	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	4	4	4	2	2	2	3	3	3	4	4	4	
准看護師	平均値	0.091	0.235	0.146	0.118	0.147	0.130	0.036	0.076	0.062	0.048	0.088	0.073	
	標準偏差	0.426	0.562	0.478	0.327	0.436	0.380	0.205	0.302	0.276	0.241	0.329	0.300	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	2	2	2	1	2	2	3	2	3	2	3	3	
その他	平均値	—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023	
	標準偏差	—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150	
	最小値	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

表 22

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩状況・分娩経験別）

- ・ 正常な経陰分娩等を含む「その他の分娩」において、娩出2時間前後に関わった職種別延べ人数は「産婦人科医」が0.8人、「助産師」が2.3人、「看護師」が0.4人であった。
- ・ 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、帝王切開＞無痛分娩＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- ・ 「助産師」については、無痛分娩＞帝王切開＞その他の分娩の順で投入される人数が多かった。
- ・ 「看護師」については、帝王切開＞その他の分娩＞無痛分娩の順で投入される人数が多かった。

			帝王切開			無痛分娩			その他の分娩			計		
標本数			初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
			22	17	41	34	34	69	277	382	676	333	433	786
娩出時前後2時間														
産婦人科医	平均値	1.909	1.706	1.805	1.441	1.529	1.478	1.072	0.644	0.821	1.165	0.755	0.930	
	標準偏差	0.684	0.588	0.641	0.613	0.615	0.609	0.809	0.671	0.756	0.814	0.730	0.788	
	最小値	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
	最大値	3	3	3	3	3	3	5	4	5	5	4	5	
麻酔科医	平均値	0.364	0.588	0.463	0.235	0.294	0.275	0.025	0.003	0.012	0.069	0.048	0.059	
	標準偏差	0.902	0.618	0.778	0.431	0.462	0.450	0.216	0.051	0.144	0.345	0.226	0.284	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	4	2	4	1	1	1	3	1	3	4	2	4	
小児科新生児科医	平均値	0.227	0.176	0.195	0.029	0.147	0.087	0.083	0.021	0.047	0.087	0.037	0.059	
	標準偏差	0.685	0.393	0.558	0.171	0.359	0.284	0.289	0.143	0.219	0.322	0.189	0.256	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	3	1	3	1	1	1	2	1	2	3	1	3	
助産師	平均値	2.636	2.059	2.390	2.235	2.500	2.391	2.289	2.272	2.271	2.306	2.282	2.288	
	標準偏差	1.255	0.966	1.181	1.103	1.285	1.203	1.072	0.985	1.015	1.088	1.011	1.041	
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	最大値	5	5	5	5	5	6	7	7	7	7	7	7	
看護師	平均値	1.273	1.294	1.220	0.412	0.294	0.348	0.552	0.374	0.448	0.586	0.404	0.480	
	標準偏差	1.279	1.312	1.275	0.701	0.524	0.614	0.781	0.682	0.729	0.834	0.727	0.777	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	4	4	4	2	2	2	4	3	4	4	4	4	
准看護師	平均値	0.091	0.235	0.146	0.147	0.147	0.145	0.043	0.079	0.067	0.057	0.090	0.078	
	標準偏差	0.426	0.562	0.478	0.436	0.436	0.430	0.221	0.306	0.283	0.268	0.332	0.312	
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	3	3	
その他	平均値	—	0.118	0.073	—	0.059	0.029	0.022	0.016	0.019	0.018	0.023	0.023	
	標準偏差	—	0.332	0.264	—	0.239	0.169	0.146	0.125	0.137	0.133	0.150	0.150	
	最小値	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最大値	—	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 「その他の分娩」とは、患者（産婦）個票において帝王切開分娩と無痛分娩以外であったものであり、正常な経陰分娩等が該当する。

表 23

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出30分前後、分娩施設・分娩経験別）

- ・「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- ・「助産師」については、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- ・「看護師」については、診療所>それ以外の病院>総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

				総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
				初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数				67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後30分															
産婦人科医	平均値	1.672	1.468	1.571	1.386	1.163	1.279	1.155	1.122	1.135	-	-	-	-	-
	標準偏差	0.746	0.687	0.720	0.726	0.433	0.615	0.380	0.362	0.368	-	-	-	-	-
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	最大値	4	4	4	4	3	4	3	3	3	-	-	-	-	-
	割合	0.164	0.213	0.176	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	-	-	-	-	-
麻酔科医	平均値	0.480	0.463	0.463	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	-	-	-	-	-
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	3	2	3	3	1	3	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	0.209	0.128	0.168	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	-	-	-	-	-
小児科新生児科医	平均値	0.509	0.337	0.438	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	-	-	-	-	-
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	2.313	2.064	2.193	1.947	1.767	1.875	1.723	1.698	1.709	2.630	2.497	2.522	2.522	2.522
助産師	平均値	1.144	1.131	1.130	0.953	0.895	0.910	0.943	0.925	0.936	0.853	0.739	0.763	0.763	0.763
	標準偏差	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	最大値	7	7	7	5	4	5	5	6	6	5	5	6	6	6
	割合	0.239	0.234	0.227	0.421	0.605	0.510	0.871	0.645	0.748	0.037	0.023	0.026	0.026	0.026
看護師	平均値	0.740	0.598	0.669	0.706	0.791	0.750	0.812	0.807	0.812	0.272	0.152	0.185	0.185	0.185
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	4	2	4	3	3	4	4	4	4	2	1	2	2	2
	割合	-	-	-	0.053	0.023	0.038	0.077	0.203	0.150	-	-	-	-	-
准看護師	平均値	-	-	-	0.294	0.152	0.238	0.291	0.471	0.413	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	-	-	2	1	2	3	3	3	-	-	-	-	-
	割合	-	0.021	0.017	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	-	-	-	-	-
その他	平均値	-	0.146	0.129	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

表 24

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出1時間前後、分娩施設・分娩経験別）

- ・「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- ・「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- ・「看護師」については、診療所>それ以外の病院>総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

				総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
				初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数				67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時前後1時間															
産婦人科医	平均値	1.701	1.468	1.588	1.466	1.163	1.317	1.168	1.134	1.147	-	-	-	-	-
	標準偏差	0.779	0.687	0.741	0.803	0.433	0.672	0.392	0.374	0.379	-	-	-	-	-
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	最大値	4	4	4	4	3	4	3	3	3	-	-	-	-	-
	割合	0.194	0.213	0.193	0.123	0.070	0.106	0.006	0.041	0.027	-	-	-	-	-
麻酔科医	平均値	0.584	0.463	0.525	0.466	0.258	0.392	0.080	0.198	0.162	-	-	-	-	-
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	4	2	4	3	1	3	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	0.254	0.128	0.193	0.140	0.093	0.115	0.013	0.029	0.024	-	-	-	-	-
小児科新生児科医	平均値	0.560	0.337	0.474	0.350	0.294	0.321	0.113	0.168	0.153	-	-	-	-	-
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	2.448	2.170	2.311	2.018	1.860	1.952	1.826	1.767	1.793	2.630	2.567	2.574	2.574	2.574
助産師	平均値	1.171	1.167	1.163	1.044	0.889	0.959	0.954	0.951	0.955	0.853	0.736	0.760	0.760	0.760
	標準偏差	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	最大値	7	7	7	5	4	5	5	6	6	6	5	6	6	6
	割合	0.254	0.255	0.244	0.439	0.674	0.548	0.890	0.709	0.793	0.037	0.023	0.026	0.026	0.026
看護師	平均値	0.746	0.642	0.688	0.708	0.808	0.762	0.826	0.836	0.834	0.272	0.152	0.185	0.185	0.185
	標準偏差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2	2	2
	割合	-	-	-	0.053	0.023	0.038	0.084	0.215	0.159	-	-	-	-	-
准看護師	平均値	-	-	-	0.294	0.152	0.238	0.301	0.490	0.427	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	-	-	2	1	2	2	3	3	-	-	-	-	-
	割合	-	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	-	-	-	-	-
その他	平均値	-	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最小値	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

表 25

分娩に関わった職種別延べ人数（娩出2時間前後、分娩施設・分娩経験婦別）

- 「産婦人科医」、「麻酔科医」、「小児科新生児科医」とも、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「助産師」についても、総合・地域周産期母子医療センター>それ以外の病院>診療所の順で投入される人数が多かった。
- 「看護師」については、診療所>それ以外の病院>総合・地域周産期母子医療センターの順で投入される人数が多かった。

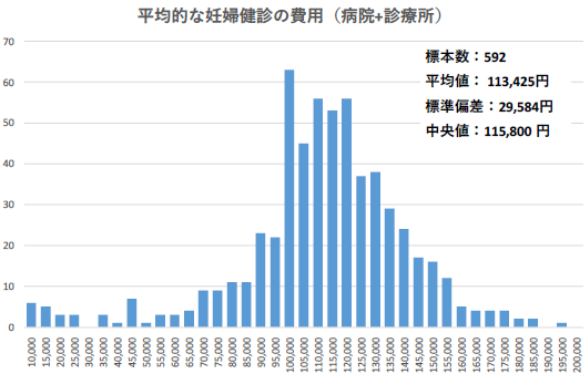
				総合・地域周産期 母子医療センター			それ以外の病院			診療所			助産所		
				初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計	初産婦	経産婦	計
標本数				67	47	119	57	43	104	155	172	333	54	171	230
娩出時間前後2時間															
産婦人科医	平均値	1,836	1,574	1,706	1,456	1,233	1,346	1,174	1,163	1,165	-	-	-	-	-
	標準偏差	0.881	0.715	0.817	0.803	0.490	0.679	0.397	0.415	0.403	-	-	-	-	-
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
	最大値	5	4	5	4	3	4	3	3	3	-	-	-	-	-
麻酔科医	平均値	0.194	0.213	0.193	0.140	0.070	0.115	0.013	0.047	0.033	-	-	-	-	-
	標準偏差	0.584	0.463	0.525	0.490	0.258	0.402	0.113	0.211	0.179	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	4	2	4	3	1	3	1	1	1	-	-	-	-	-
小児科新生児科医	平均値	0.269	0.128	0.202	0.140	0.093	0.115	0.019	0.035	0.030	-	-	-	-	-
	標準偏差	0.566	0.337	0.480	0.350	0.294	0.321	0.138	0.184	0.171	-	-	-	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	3	1	3	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-
助産師	平均値	2,657	2,447	2,546	2,281	2,093	2,221	2,026	1,977	1,994	2,704	2,591	2,609	-	-
	標準偏差	1,225	1,176	1,191	1,013	0,971	0,995	1,038	1,108	1,075	0,882	0,741	0,773	-	-
	最小値	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-
	最大値	7	7	7	5	5	5	5	6	6	6	6	6	-	-
看護師	平均値	0.269	0.255	0.262	0.474	0.698	0.577	0.955	0.750	0.844	0.037	0.023	0.026	-	-
	標準偏差	0.750	0.642	0.692	0.734	0.832	0.784	0.863	0.859	0.864	0.272	0.152	0.185	-	-
	最小値	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-
	最大値	4	2	4	3	3	3	4	4	4	2	1	2	-	-
准看護師	平均値	-	-	-	0.053	0.023	0.038	0.103	0.221	0.171	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	-	-	0.294	0.152	0.238	0.345	0.493	0.443	-	-	-	-	-
	最小値	-	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	-	-	2	1	2	2	3	3	-	-	-	-	-
その他	平均値	-	0.021	0.025	0.035	0.023	0.029	0.026	0.047	0.036	-	-	-	-	-
	標準偏差	-	0.146	0.157	0.186	0.152	0.168	0.159	0.211	0.187	-	-	-	-	-
	最小値	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	最大値	-	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-

※ すべての調査項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ それ以外の病院には、総合・地域周産期母子医療センター以外の病院が含まれる。

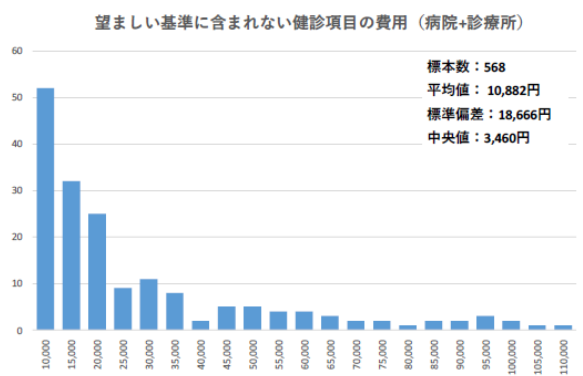
表 26

平均的な妊婦健診と望ましい基準に含まれない健診項目の費用（病院+診療所）

- 平均的な妊婦健診（病院+診療所）の費用の平均は113,425円（中央値115,800円）、うち望ましい基準に含まれない健診項目（以下、基準外）の費用は10,882円（中央値3,460円）。平均的な健診費用が正規分布に近いのに対し、基準外は実施していない施設が多く、右裾が長い分布となっている。
- 尚、妊婦の平均的な妊婦健診の受診回数の平均値は約13.4回で、中央値も13.4。



※注1 平均的な妊婦健診の費用については、明らかに1回当たりの健診費用と思われる外れ値と上位1%の外れ値を除外。回答施設に確認の必要あり



※注2 望ましい基準に含まれない健診項目は、「妊婦に対する健康診査についての望ましい基準」（平成27年厚生労働省告示第226号）に含まれない項目としている。尚、上位1%の外れ値を除外。

表 27

産後ケア事業の費用（病院+診療所と助産所）

- 短期入所型（1泊2日ショートステイ型）（病院+診療所）の費用の平均値は42,768円（中央値36,000円）に対し、助産所の費用の平均値は51,462円（中央値55,000円）。
- 尚、病院+診療所での1ヶ月間の延べ利用者数の平均は約7.5人（中央値3人）、助産所では約8.2人（中央値2人）。

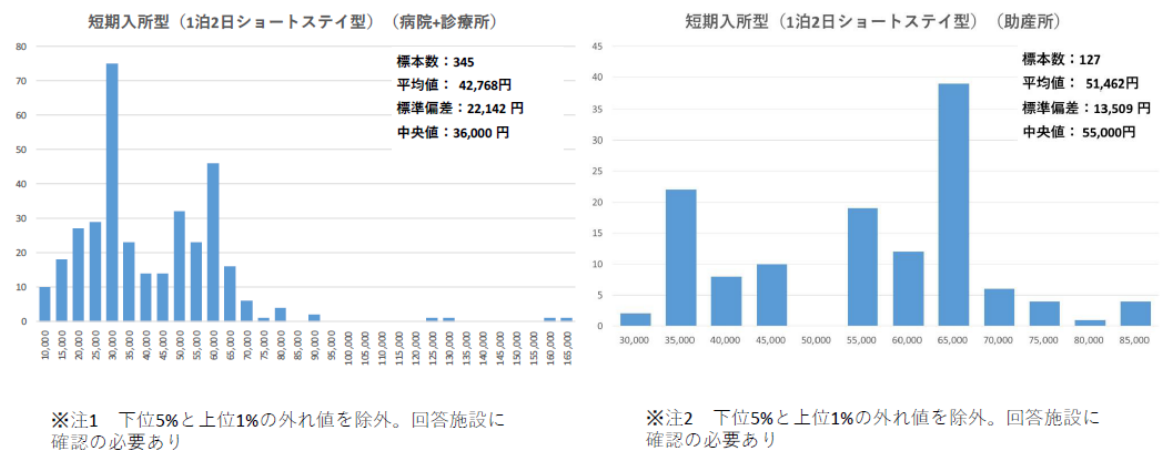


表 28

年度別の損益率の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率 ^{※注1}	R 4 年度	R 5 年度	回答施設数	平均病床数	平均分娩件数 ^{※注3}
回答のあった病院全体	▲5.4%	▲6.9%	74	448	36.8
（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	▲5.9%	▲6.9%	39	541	41.2
（再掲）それ以外の病院	▲8.1%	▲6.5%	35	321	31.8
うち、産婦人科部門 ^{※注2}	12.7%	12.2%	16	543	57.1
（再掲）総合・地域周産期母子医療センター	21.1%	20.1%	8	737	58.9
（再掲）それ以外の病院	▲0.7%	▲0.1%	8	253	55.3

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注 1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

※ 注 2 病院の調査において、産婦人科部門の損益について、病院全体と分けて会計処理されている医療機関においては、産婦人科部門について別に回答いただいたものを集計した。

※ 注 3 令和 6 年 9 月 1 日～30 日の 1 か月間での平均分娩件数

（参考）

損益率 ^{※注3}	R 3 年度	R 4 年度	回答施設数	平均病床数
第24回医療経済実態調査（一般病院）	▲5.5%	▲6.7%	703	172

※ 注 1 損益率は、（医業・介護収益-医業・介護費用）÷ 医業・介護収益により算出、「医業・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

表 29

年度別の損益率の状況②（一般診療所・助産所）

一般診療所 今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

損益率※注1	R4年度	R5年度	回答施設数
医療法人	6.3%	3.6%	43
個人	5.8%	13.1%	8

助産所

損益率※注1	R4年度	R5年度	今回調査の 回答施設数
個人	15.5%	11.7%	14
個人以外※注2	3.0%	▲3.6%	4

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 個人立の一般診療所については、損益差額の計算上、開設者（院長等）の報酬に相当する部分が、費用に計上されていないこと等から、医療法人よりも、「損益率」が数値上高くあらわれている。
※ 注1 損益率は、（医療・介護収益-医療・介護費用）÷ 医療・介護収益により算出、「医療・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。
※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

（参考）

損益率※注1	R3年度	R4年度	回答施設数
第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり、全体）	6.4%	4.7%	115
（再掲）医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	4.7%	2.7%	31

※ 注1 損益率は、（医療・介護収益-医療・介護費用）÷ 医療・介護収益により算出、「医療・介護収益」は、新型コロナウイルス関係補助金を含まない額。

表 30

各収益・費用項目の伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）									金額の伸び率（R3→R4年度）	
	回答のあった病院全体						総合・地域周産期母子医療センター			（参考） 第24回医療経済実態調査 一般病院、全体	
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に占める 比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に占める 比率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に占める 比率※注1		（参考） 医療・介護 収益に占める 比率※注2
医療収益	2.7%	▲1.2%	99.9%	2.2%	▲2.4%	99.9%	3.7%	0.8%	99.8%	2.1%	99.8%
入院診療収益	2.8%	▲1.0%	66.0%	2.3%	▲2.8%	65.9%	4.2%	1.9%	66.0%	2.2%	66.8%
保険診療収益	2.8%	▲1.9%	65.2%	2.2%	▲2.9%	65.2%	4.3%	0.9%	65.0%	2.5%	65.3%
公害等診療収益	▲6.5%	▲43.5%	0.3%	▲0.3%	▲43.5%	0.3%	▲33.1%	0.0%	0.1%	▲5.3%	0.5%
その他の診療収益	7.5%	2.9%	0.5%	13.8%	1.0%	0.4%	1.7%	3.2%	0.9%	▲7.4%	0.9%
特別の療養環境収益	11.0%	4.2%	1.0%	7.5%	4.7%	1.0%	19.3%	0.9%	1.0%	▲6.1%	0.8%
外来診療収益	4.2%	0.7%	30.6%	4.7%	2.5%	31.0%	3.1%	▲1.5%	29.9%	2.8%	28.3%
保険診療収益	4.3%	1.1%	30.3%	4.7%	3.0%	30.7%	3.4%	▲2.4%	29.5%	3.0%	27.4%
公害等診療収益	2.2%	44.2%	0.1%	7.4%	44.2%	0.1%	▲8.6%	0.0%	0.1%	2.9%	0.3%
その他の診療収益	▲10.5%	▲0.4%	0.2%	▲4.7%	▲1.9%	0.2%	▲17.9%	0.1%	0.3%	▲7.5%	0.6%
その他の医療収益	▲18.6%	▲21.9%	2.3%	▲25.8%	▲32.0%	2.0%	▲5.1%	▲1.7%	3.0%	▲2.8%	3.9%
介護収益	3.8%	0.0%	0.1%	3.8%	0.0%	0.1%	3.7%	0.0%	0.2%	▲14.6%	0.2%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 注1 医療・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。
※ 注2 医療・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

表 31

各収益・費用項目の伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R4―R5年度）									金額の伸び率（R3―R4年度）	
	回答のあった病院全体									（参考） 第24回医療経済実態調査（一般病院、全体）	
	総合・地域周産期母子医療センター			それ以外の病院							
		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に 占める比 率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に 占める比 率※注1		うち、 産婦人科 部門	（参考） 医療・介護 収益に 占める比 率※注1		（参考） 医療・介護 収益に 占める比 率※注2
医療・介護費用	4.1%	▲0.5%	106.9%	5.0%	▲1.2%	107.0%	2.1%	0.3%	106.5%	3.2%	106.7%
給与費	1.4%	1.0%	48.6%	2.0%	1.4%	46.7%	0.2%	0.6%	52.7%	1.9%	56.9%
医薬品費	8.2%	6.8%	21.0%	8.2%	5.8%	22.6%	7.9%	10.1%	17.2%	5.6%	13.1%
給食用材料費	5.1%	6.6%	0.5%	5.2%	12.4%	0.4%	5.0%	4.7%	0.6%	1.8%	0.7%
診療材料費・医療消耗器具備品費	5.0%	3.3%	12.3%	4.9%	3.7%	12.7%	5.4%	2.7%	11.4%	2.7%	9.7%
委託費	3.2%	▲1.7%	7.4%	3.0%	▲2.3%	7.2%	3.8%	▲1.3%	7.7%	2.7%	7.5%
（再掲）給食委託費	▲0.4%	▲6.2%	0.7%	2.8%	▲12.5%	0.7%	▲8.3%	0.2%	0.6%	2.2%	1.2%
（再掲）人材委託費	5.4%	3.0%	1.5%	5.2%	2.8%	1.4%	6.0%	3.7%	1.6%	6.4%	1.3%
（再掲）紹介手数料	43.0%	0.0%	0.0%	25.6%	0.0%	0.0%	65.6%	0.0%	0.0%	20.1%	0.1%
減価償却費	0.5%	▲1.9%	6.9%	0.6%	▲1.3%	6.9%	0.2%	▲3.9%	7.0%	2.8%	5.8%
（再掲）建物減価償却費	▲3.9%	0.7%	2.2%	▲4.1%	▲0.6%	2.3%	▲3.3%	3.1%	2.0%	4.0%	1.9%
（再掲）医療機器減価償却費	1.4%	▲1.5%	3.0%	4.5%	3.1%	3.0%	▲5.3%	▲9.7%	2.8%	4.5%	2.0%
設備関係費	2.0%	▲1.6%	9.9%	1.3%	0.4%	9.8%	3.5%	▲4.2%	10.3%	2.7%	4.2%
（再掲）設備機器賃借料	5.8%	▲6.5%	0.9%	6.5%	4.1%	0.9%	4.0%	▲10.0%	0.8%	▲0.7%	1.1%
（再掲）医療機器賃借料	4.5%	▲12.4%	0.6%	4.7%	5.4%	0.6%	3.9%	▲18.6%	0.5%	0.0%	0.7%
経費	17.7%	▲21.7%	5.6%	30.7%	▲40.8%	5.9%	▲7.3%	▲2.0%	5.0%	11.9%	6.3%
（再掲）水道光熱費	▲12.0%	▲12.8%	1.9%	▲11.2%	▲13.9%	2.0%	▲14.1%	▲10.6%	1.8%	32.2%	2.3%
その他の医療費用	2.8%	34.0%	1.6%	4.0%	2.5%	1.7%	0.1%	▲1.3%	1.6%	4.7%	2.4%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 注1 医療・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。
※ 注2 医療・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

表 32

各収益・費用項目の伸び率③（一般診療所①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）		(参考) 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収益あり）			
			(再掲) 医療法人、入院診療収益あり、産婦人科		(再掲) 医療法人、入院診療収益あり、産婦人科	
		(参考) 医療・介護 収益に 占める比 率※注1		(参考) 医療・介護 収益に 占める比 率※注2		(参考) 医療・介護 収益に 占める比 率※注2
医療収益	▲2.0%	99.6%	▲0.2%	95.7%	▲2.5%	100.0%
入院診療収益	▲1.5%	58.8%	0.2%	33.7%	▲1.3%	57.1%
保険診療収益	▲1.7%	20.4%	0.7%	22.1%	▲3.0%	14.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.4%	0.1%	▲100.0%	0.0%
その他の診療収益	▲1.4%	38.1%	▲0.6%	11.5%	▲0.7%	43.1%
外来診療収益	▲2.7%	33.6%	0.7%	57.6%	1.6%	38.0%
保険診療収益	0.1%	21.7%	0.8%	50.9%	4.6%	20.0%
公害等診療収益	0.0%	0.0%	▲8.2%	0.2%	66.7%	0.0%
その他の診療収益	▲7.4%	11.7%	0.9%	6.5%	▲1.5%	18.0%
その他の医療収益	▲2.8%	7.2%	▲9.9%	5.5%	▲35.2%	5.1%
介護収益	▲8.0%	0.4%	▲1.1%	4.3%	—	0.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。
※ 注1 医療・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。
※ 注2 医療・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

表 33

各収益・費用項目の伸び率④（一般診療所②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

費用項目	金額の伸び率（R4→R5年度）		金額の伸び率（R3→R4年度）			
	回答のあった診療所（医療法人）	（参考） 医療・介護収益に 占める比率 ^{※注1}	（参考） 第24回医療経済実態調査 一般診療所（医療法人、入院診療収 益あり）		（再掲）医療法人、入院診療収益あ り、産婦人科	
			（参考） 医療・介護収益に 占める比率 ^{※注2}	（参考） 医療・介護収益に 占める比率 ^{※注2}	（参考） 医療・介護収益に 占める比率 ^{※注2}	（参考） 医療・介護収益に 占める比率 ^{※注2}
医療・介護費用	0.9%	96.4%	1.7%	95.3%	▲0.4%	97.3%
給与費	2.0%	57.6%	3.2%	48.7%	5.6%	55.4%
医薬品費	3.4%	6.7%	▲1.5%	11.0%	5.3%	6.7%
材料費	0.0%	0.0%	3.0%	6.4%	▲1.0%	3.1%
給食用材料費	1.6%	3.7%	▲0.8%	0.8%	▲4.2%	1.4%
委託費	3.0%	5.8%	6.9%	6.0%	10.0%	6.7%
（再掲）給食委託費	13.9%	1.3%	7.3%	1.6%	11.2%	2.4%
（再掲）人材委託費	▲9.0%	0.4%	12.1%	1.0%	100.8%	0.8%
（再掲）紹介手数料	▲37.5%	0.1%	4.4%	0.1%	▲49.7%	0.0%
減価償却費	0.2%	4.6%	▲3.9%	3.5%	5.6%	3.3%
（再掲）建物減価償却費	2.3%	1.6%	▲0.3%	0.9%	0.3%	0.8%
（再掲）医療機器減価償却費	▲8.5%	0.9%	▲4.3%	1.1%	4.8%	0.9%
その他の医療・介護費用	▲3.9%	18.0%	▲1.1%	18.9%	▲17.3%	20.8%
（再掲）設備機器賃借料	3.5%	1.1%	1.3%	1.3%	2.3%	1.2%
（再掲）医療機器賃借料	1.0%	0.7%	▲3.5%	0.9%	0.1%	0.9%
（再掲）水道光熱費	5.5%	1.7%	17.6%	1.9%	18.4%	1.5%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 医療・介護収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 医療・介護収益に占める比率は、令和4年度の数値。

表 34

各収益・費用項目の伸び率⑤（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

収益項目	金額の伸び率（R4→R5年度）			
	個人	（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}	個人以外 ^{※注2}	
			（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}	（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}
収益合計	▲2.7%	100.0%	▲2.8%	100.0%
出産の収益	▲1.9%	61.4%	▲4.1%	45.5%
妊婦健診等の健診の収益	5.1%	8.5%	▲2.5%	11.2%
その他の収益	▲6.3%	30.0%	▲1.6%	43.4%

費用項目	金額の伸び率（R4→R5年度）			
	個人	（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}	個人以外 ^{※注2}	
			（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}	（参考） 収益に占める 比率 ^{※注1}
医療・介護費用	1.7%	88.3%	3.8%	103.6%
給与費	1.3%	41.1%	6.3%	59.6%
医薬品費	34.7%	0.5%	▲28.6%	0.5%
給食用材料費	▲8.8%	2.7%	▲13.5%	1.1%
材料費	▲10.3%	4.9%	▲7.8%	7.2%
委託費	44.7%	5.8%	7.8%	2.8%
（再掲）給食委託費	21.3%	0.5%	0.0%	0.0%
（再掲）人材委託費	52.8%	4.9%	19.3%	2.1%
減価償却費	▲2.3%	7.8%	45.7%	3.4%
（再掲）建物減価償却費	5.3%	4.9%	29.3%	2.4%
（再掲）医療機器減価償却費	2.0%	1.2%	128.7%	0.4%
その他の医療・介護費用	0.0%	25.5%	0.0%	29.0%
（再掲）設備機器賃借料	▲20.5%	0.7%	▲27.8%	0.7%
（再掲）医療機器賃借料	▲29.6%	0.4%	▲27.8%	0.7%
（再掲）水道光熱費	▲6.4%	2.2%	▲3.2%	3.0%

※ 費目の詳細に欠損がある施設を除外し、損益が確認出来る施設のみについて算出を行なった。すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 収益に占める比率は、令和5年度の数値。

※ 注2 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

表 35

職種別給与の平均と中央値、伸び率①（病院①）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった病院全体					平均給料の 伸び率
		R 4 年度		R 5 年度			
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値		
病院長	65	20,749,510	20,579,140	20,855,230	20,614,000	0.5%	
医師	74	15,618,850	14,474,910	15,741,970	14,843,990	0.8%	
産婦人科医師	65	16,176,280	16,777,240	16,218,170	15,937,420	0.3%	
小児科医師	61	14,597,890	15,315,940	14,826,040	15,692,730	1.6%	
麻酔科医師	54	14,750,070	15,379,460	15,133,860	15,268,290	2.6%	
歯科医師	43	12,407,290	12,643,740	12,281,150	12,789,640	▲1.0%	
薬剤師	71	7,472,293	5,828,920	7,418,553	5,948,071	▲0.7%	
助産師	70	6,072,989	5,644,170	6,177,764	5,776,781	1.7%	
看護職員	73	6,234,536	5,566,804	6,912,037	5,637,998	10.9%	
看護補助職員	47	4,068,473	3,228,391	4,042,137	3,329,272	▲0.6%	
医療技術員	69	8,415,458	5,671,359	8,332,027	5,675,461	▲1.0%	
歯科衛生士	39	4,495,757	4,463,927	4,608,163	4,649,258	2.5%	
歯科技工士	18	6,289,383	6,051,407	6,120,862	6,292,096	▲2.7%	

	回答 施設数	総合・地域周産期母子医療センター				平均給料の 伸び率
		R 4 年度		R 5 年度		
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	32	19,020,370	18,669,760	19,203,800	18,649,930	1.0%
医師	35	15,010,000	13,959,120	15,131,560	14,634,800	0.8%
産婦人科医師	32	14,366,270	14,760,160	14,303,900	14,537,090	▲0.4%
小児科医師	31	13,923,600	15,204,230	13,923,920	15,188,490	0.0%
麻酔科医師	32	13,519,360	14,404,940	13,667,000	14,427,100	1.1%
歯科医師	24	11,434,070	10,314,070	11,234,990	10,204,040	▲1.7%
薬剤師	33	6,011,868	5,826,234	6,058,197	5,866,564	0.8%
助産師	30	6,620,836	5,687,087	6,765,292	5,867,949	2.2%
看護職員	34	5,666,518	5,576,578	5,789,460	5,699,924	2.2%
看護補助職員	19	3,369,121	3,079,252	3,272,165	3,108,317	▲2.9%
医療技術員	34	8,789,787	5,689,442	8,611,568	5,850,760	▲2.0%
歯科衛生士	26	4,684,326	4,517,557	4,822,448	4,866,014	2.9%
歯科技工士	16	6,168,524	6,051,407	5,990,434	6,292,096	▲2.9%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

表 36

職種別給与の平均と中央値、伸び率②（病院②）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	それ以外の病院				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	33	22,426,260	21,736,900	22,458,100	21,636,160	0.1%
医師	39	16,165,250	15,785,890	16,277,930	15,383,550	0.7%
産婦人科医師	33	17,931,440	17,607,390	18,079,260	17,322,820	0.8%
小児科医師	30	15,294,660	15,557,670	15,812,730	16,026,030	3.4%
麻酔科医師	22	16,540,190	16,779,210	17,273,040	16,464,970	4.4%
歯科医師	19	13,636,620	12,998,840	13,641,150	14,038,490	0.0%
薬剤師	38	8,740,557	5,905,986	8,574,856	6,031,570	▲1.9%
助産師	40	5,662,104	5,548,332	5,719,207	5,506,954	1.0%
看護職員	39	6,729,730	5,566,804	7,870,334	5,600,098	16.9%
看護補助職員	28	4,543,033	3,374,944	4,588,568	3,338,579	1.0%
医療技術員	35	8,051,823	5,527,762	8,060,251	5,519,323	0.1%
歯科衛生士	13	4,118,618	4,384,746	4,179,594	4,149,066	1.5%
歯科技工士	2	7,256,251	7,256,251	7,164,286	7,164,286	▲1.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院全体)				
		R 3 年度		R 4 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
病院長	605	26,208,673	23,359,348	26,334,663	23,778,440	0.5%
医師	609	14,619,456	16,889,246	14,610,739	16,748,784	▲0.1%
歯科医師	124	12,587,192	12,637,429	12,491,733	12,025,456	▲0.8%
薬剤師	605	5,625,692	5,668,371	5,688,862	5,657,393	1.1%
看護職員	627	5,127,639	4,909,081	5,209,279	4,975,673	1.6%
看護補助職員	549	3,187,598	3,099,619	3,244,894	3,138,072	1.8%
医療技術員	609	4,657,816	4,462,923	4,675,624	4,496,132	0.4%
歯科衛生士	157	3,759,497	3,656,860	3,778,665	3,668,069	0.5%
歯科技工士	17	5,050,562	4,704,000	4,909,517	4,439,325	▲2.8%

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

表 37

職種別給与の平均と中央値、伸び率③（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答 施設数	回答のあった診療所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	68	36,121,330	33,940,000	33,962,280	31,735,000	▲6.0%
医師	54	25,903,460	15,543,890	23,621,370	14,200,000	▲8.8%
産婦人科医師	54	23,733,230	18,850,630	24,044,530	16,928,760	1.3%
小児科医師	14	23,408,430	10,554,200	21,344,610	6,637,500	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	4	5,539,325	4,995,150	5,570,325	5,048,150	0.6%
助産師	77	6,901,160	5,157,783	7,206,525	5,205,775	4.4%
看護職員	77	9,188,326	4,546,462	9,137,582	4,497,461	▲0.6%
看護補助職員	51	5,249,070	2,711,750	4,428,884	2,730,500	▲15.6%
医療技術員	22	3,959,305	4,094,924	4,012,151	4,081,288	1.3%

	回答 施設数	医療法人				平均給料の伸び率
		R 4 年度		R 5 年度		
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	64	36,529,220	34,725,000	34,582,340	32,580,000	▲5.3%
医師	44	28,765,430	16,900,000	26,222,290	15,227,610	▲8.8%
産婦人科医師	44	24,690,920	18,612,780	25,446,140	16,928,760	3.1%
小児科医師	12	26,669,610	12,930,150	24,312,910	9,129,200	▲8.8%
麻酔科医師	5	18,101,780	7,260,000	10,609,920	6,000,000	▲41.4%
薬剤師	3	5,857,767	5,406,300	5,875,767	5,442,300	0.3%
助産師	62	7,423,518	5,273,470	7,773,486	5,330,472	4.7%
看護職員	64	10,162,960	4,524,156	10,108,230	4,525,618	▲0.5%
看護補助職員	46	5,463,929	2,702,229	4,586,631	2,729,616	▲16.1%
医療技術員	20	3,900,943	4,080,648	4,030,608	4,081,288	3.3%

	回答 施設数	(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般診療所、医療法人)				平均給料の伸び率
		R 3 年度		R 4 年度		
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
院長	1014	25,915,156	21,600,000	26,529,548	21,600,000	2.4%
医師	365	10,940,874	10,500,000	11,180,508	11,600,000	2.2%
薬剤師	31	7,797,038	5,708,450	7,416,328	5,992,800	▲4.9%
看護職員	872	4,012,040	3,836,950	4,092,131	3,887,538	2.0%
看護補助職員	180	2,547,336	2,673,775	2,605,794	2,682,001	2.3%
医療技術員	285	4,088,232	4,020,609	4,211,087	4,107,151	3.0%

※ 本調査の項目について、給与が上位99パーセンタイルを超える、もしくは、下位1パーセント以下を外れ値として除外

表 38

職種別給与の平均と中央値、伸び率④（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

	回答施設数	回答のあった助産所全体				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	15	4,302,448	4,800,000	4,208,539	4,219,350	▲2.2%
助産師	48	3,150,478	2,500,000	3,173,848	2,579,622	0.7%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人				
		R 4 年度		R 5 年度		平均給料の 伸び率
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	3	4,610,501	4,800,000	4,506,531	4,800,000	▲2.3%
助産師	33	2,689,389	1,397,484	2,725,024	1,704,433	1.3%
看護職員	4	964,200	885,070	943,976	721,573	▲2.1%
看護補助職員	4	1,366,997	1,348,500	2,095,403	1,488,473	53.3%

	回答施設数	個人以外※1				平均給料の 伸び率
		R 4 年度		R 5 年度		
		平均給料計	中央値	平均給料計	中央値	
管理者	12	4,225,435	4,615,000	4,134,041	4,034,675	▲2.2%
助産師	15	4,164,874	3,680,000	4,161,261	3,533,333	▲0.1%
看護職員	—	—	—	—	—	—
看護補助職員	—	—	—	—	—	—

※ 常勤勤務者数について、「人・月」を「人」で回答した助産所については12倍することで「人・月」に換算の上、給与を算出した。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。

表 39

年度別の資産・負債の状況①（病院）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

(単位：千円)

	今回調査						(参考) 第24回医療経済実態調査 (一般病院)	
	R 4 年度			R 5 年度			R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった病院全体			回答のあった病院全体				
		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		総合・地域 周産期母子 医療セン ター	それ以外の 病院		
流動資産	8,472,798	10,919,832	5,593,935	8,341,490	10,413,983	5,903,264	1,703,514	1,778,404
固定資産	15,294,655	20,118,598	9,619,427	15,176,233	19,968,088	9,538,756	3,093,195	3,134,728
繰延資産	109,607	66,347	160,501	57,668	60,874	53,897	22,441	23,882
資産合計	23,877,060	31,104,778	15,373,862	23,575,392	30,442,944	15,495,917	4,819,150	4,937,014
流動負債	3,748,013	5,308,976	1,911,584	3,959,571	5,679,599	1,936,008	841,669	832,276
固定負債	10,710,495	14,022,526	6,813,987	10,207,606	13,415,679	6,433,402	2,179,129	2,167,468
（うち）長期借入金	6,529,807	8,247,352	4,559,683	6,239,824	7,731,987	4,528,224	1,294,649	1,255,522
負債合計	14,458,507	19,331,502	8,725,572	14,167,176	19,095,278	8,369,410	3,020,798	2,999,743
資本合計	9,418,552	11,773,275	6,648,291	9,408,215	11,347,667	7,126,507	1,798,352	1,937,271
施設数	74	40	34	74	40	34	664	
平均病床数	473	634	284	476	632	285	174	173

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

表 40

年度別の資産・負債の状況②（一般診療所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

(単位：千円)

	今回調査				(参考) 第24回医療経済実態調査 一般診療所（入院診療収益あり、全体）	
	R 4 年度		R 5 年度		R 3 年度	R 4 年度
	回答のあった診療所全体		回答のあった診療所全体			
		医療法人		医療法人		
流動資産	231,861	244,249	231,366	242,508	268,332	267,163
固定資産	285,630	285,536	287,630	288,552	301,098	307,457
繰延資産	4,377	4,828	5,007	5,142	3,264	3,080
資産合計	522,078	534,612	522,591	534,260	572,694	577,700
流動負債	53,723	57,675	58,303	63,483	91,898	93,795
固定負債	133,181	116,580	129,852	110,715	106,053	95,378
（うち）長期借入金	104,310	91,206	94,979	78,017	97,920	85,080
負債合計	187,261	174,255	188,521	174,209	197,951	189,173
資本合計	334,817	360,357	334,070	360,051	374,743	388,527
施設数	112	94	112	94	124	

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

表 41

年度別の資産・負債の状況③（助産所）

今回行った調査は、分娩を取扱っている施設のみへの調査であることに留意が必要

（単位：千円）

	R 4 年度			R 5 年度		
	回答のあった助産所全体			回答のあった助産所全体		
		個人	個人以外 ※注1		個人	個人以外 ※注1
流動資産	14,478	12,671	20,874	13,502	11,623	20,150
固定資産	26,979	23,430	39,538	26,687	23,277	38,755
繰延資産	390	500	0	336	431	0
資産合計	43,323	38,494	60,412	41,754	36,907	58,906
流動負債	10,444	11,412	7,020	10,965	12,092	6,976
固定負債	9,762	7,559	17,557	9,176	7,180	16,238
（うち）長期借入金	9,222	7,744	14,453	8,130	6,748	13,019
負債合計	22,223	21,557	24,577	21,635	21,188	23,214
資本合計	21,101	16,937	35,835	20,119	15,718	35,692
施設数	59	46	13	59	46	13

※ すべての本調査の項目において外れ値の検定・除外は行っていない。

※ 注1 個人以外には、公立（都道府県、市町村、地方独立行政法人）、公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他法人、経営主体不詳を含む。